

連番	基本目標	基本計画	取組名
1	1	1	チーム支援による総合的な相談支援
担当課			R7年度評価
福祉政策課、地域振興課 健康対策課、市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>「えしこに」を中心とした総合相談支援体制を整備し、チーム構成員が役割を担い、それぞれが受けた個別相談や地域課題について支援チーム内、関係機関と緊密に連携を図り解決に導く。</li> <li>「えしこに」の活動や役割について、広く周知をする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>総合相談支援員、地域福祉活動支援員、地区担当保健師及び地域活動支援員等で構成するチーム会議を担当地区毎に開催 (全体会：年1回、中学校区別会議：年4回×5地区)</li> <li>その他、必要に応じてチーム会議を開催する。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合相談支援員を始めとする多職種によるチーム支援会議を開催し、個別及び地域の課題共有と向きほぐしに向けた検討を行った。</li> <li>「えしこに」について、地域組織等の会への出席や定期発行の「ふれあいの里総合相談支援センターニュース」を通じて、取組や役割について広く周知した。</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チーム員による定例会議の開催数は指標は達成したが、情報共有の側面が強く、地域課題を解決に導くための協議や取組には至らなかった。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体会：2回、担当地区別定例会：20回（年4回×5地区）</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
2	1	1	地域福祉活動支援員（CW）による地域支援体制強化
担当課			R7年度評価
福祉政策課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動支援員（CW）が担当地区と深く関わり、情報提供や事例紹介、助言など住民に寄り添ったサポートを行うことで、地域での協議や活動を促進させる。</li> <li>・地域だけでは解決できない課題をとりまとめ、米子市全体の課題として検討する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏域（11中学校区）毎に地域福祉活動支援員（CW）を配置（5名配置）</li> <li>・各地域包括支援センターが主催する地域ケア会議等、既存の会議等も活用しながら、地域での協議の場づくり（地域連携会議）を進める。（R11年度末時点：地域連携会議 各地区年2回）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏域（11中学校区）毎に地域福祉活動支援員（CW）を5名配置した。</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区社協等と協働した協議の場のほか、各地域包括支援センターが主催する地域ケア会議等も活用しながら協議の場づくりを進め、地区数は同一だが参加数を増やすことはできた。</li> <li>・地域ケア会議を活用することで参加者の負担感を軽減させることはできたが、地域課題の共有に留まり、その後の活動への発展につなげにくい側面があるため、活用方法については関係機関と整理が必要である。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動支援員（CW）：5名配置</li> <li>・地域福祉活動支援員（CW）が出席した地域での協議の場：15地区60回、市がいなケア会議：1回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
3	1	1	地域福祉庁内検討会議の開催
担当課			R7年度評価
福祉政策課			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・市の様々な分野の担当課で構成する「地域福祉庁内検討会議」を開催することにより、地域課題の共有化を図りつつ、分野横断的な施策展開へつなげる。</p>			<p>・「地域“つながる”福祉プラン」の協議として年1回（推進委員会前に開催）</p> <p>・福祉課題の共有目的で随時開催</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会前に、「第2期米子市地域“つながる”福祉プラン」の協議を行った。</li> <li>・移動支援について関係各課と情報共有のための庁内検討会を行った。</li> <li>・福祉課題の解決のため庁内検討会開催をめざす。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会議：1回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
4	1	2	生活困窮者への支援
担当課		R7年度評価	
市社協		C	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・生活困窮者に対し、自立に向け相談対応や家計改善支援を行うとともに、必要に応じてたすけあい金行や生活福祉資金貸付事業、フードパートナー、えんくりり事業等を組み合わせ、自立に向けた支援を行う。</p>		<p>・自立相談支援事業：新規相談のうち、支援プラン作成率 年40%以上。支援プラン作成ケースのうち、支援による収入増加 年40%以上、改善が認められたケース 年90%以上。</p> <p>・家計支援事業：新規相談のうち、支援プラン作成率 年35%以上。支援プラン作成ケースのうち、改善が認められたケース 年90%以上。</p> <p>・生活全般の支援につながるよう、他機関との連携を推進する。</p> <p>・月1回以上の支援調整会議を継続的に実施する。</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【市社協】</b></p> <p>・自立相談支援事業は、相談者との信頼関係構築に時間を要し、プラン作成に至らないケースがあるが、そのようなケースについても電話、面談、訪問や関係機関との連携により支援を継続している。</p> <p>・家計改善事業は、本人の意欲を引き出し目標に向けた伴走支援を行うケースが増えた。家計以外の課題への対応や、相談者の障がいや特性により目標達成までに時間を要するケースも見られる。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・自立相談支援事業：プラン作成率16.4%、プラン作成ケースのうち収入増加18.8%、改善ケース27.5%</p> <p>・家計改善事業：プラン作成率43.5%、プラン作成ケースのうち改善ケース70.8%</p> <p>・月1回の支援調整会議を実施。</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
5	1	2	子どもの貧困対策
担当課		R7年度評価	
こども政策課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・「米子市こども計画」に基づき、子どもが安心して生活でき、豊かな経験を積むことができる環境づくりや貧困の連鎖を断ち切るための子どもの学力向上の取組を推進する。</p>		<p>・学習支援事業である「こども☆みらい塾」について、利用するこどもの学習意欲の向上を目標とする。保護者と利用者であるこどもを対象にして、年度末にアンケート調査を実施し、年度利用開始時の4月と年度末の3月を比較して、こどもの学習意欲の向上が図られてるかの点を指標とする。</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【こども政策課】</b></p> <p>・アンケートの結果、子どもの7割強、保護者の9割強において学習意欲の向上を実感している。また、否定的な回答の少なさと9割を超える高い満足度を鑑みれば、学習支援としての効果に加え、安心できる居場所としての機能も十分に果たしているものと評価できる。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b> R7年度評価の理由等に記載のとおり</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
6	1	2	多機関協働による支援体制の推進
担当課			R7年度評価
福祉政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が複雑化・複合化したケースに対して、関係課や各相談支援機関等が緊密に連携を図り支援体制を構築する。</li> <li>・必要に応じて重層的支援会議等を開催し、個人情報適切に取り扱いつつ支援の方向性を定め、役割分担を明確にする。</li> <li>・支援者等が孤立しないよう、継続的に支援経過を共有し、伴走型の支援を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・重層的支援体制整備事業における米子市重層的支援会議を必要に応じて開催する（社会福祉法に定める支援会議を含む）。</li> </ul> 重層的支援会議開催数：130件
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<b>【福祉政策課】</b> ・重層的支援会議を開催し、課題が複雑化・複合化し分野が横断するケースについて、支援の役割分担等を行った。			
<b>実績</b>			
<b>【R7年度実績】</b> ・重層的支援会議：115件			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
7	1	2	子どもに対する切れ目ない支援
担当課			R7年度評価
こども相談課、こども政策課 学校教育課、こども施設課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の子どもや保護者への支援を小学校へつなぎ、就学後も適切な支援を行うため、保育施設と小学校の合同情報交換会の開催や「就学支援シート」等により、就学先の小学校への情報提供を行う。</li> <li>・子どもや家庭についての様々な課題に対して、各相談窓口と連携し、切れ目なく相談・支援を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての小学校で合同情報交換会を行う。</li> <li>・発達障がいや有する園児とその保護者、在籍する保育施設に対して、「就学支援シート」の活用を促す。</li> <li>・保育施設に対して、支援が必要と思われる児童について個別の教育支援計画を作成することを促す。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【こども相談課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援や配慮が必要な園児は、幼保小合同情報交換会や就学引継ツール、個別の教育支援計画等で保育施設と学校との情報の引き継ぎを行うことにより、一定程度滑らかな就学につながっている。</li> <li>・1年生アドバイザーが保育施設等を訪問し、小学校への引き継ぎや情報提供の方法等について助言をすることで、小学校が十分準備をして新入生を迎えられたケースが多く見られた。</li> </ul> <p><b>【こども政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の子どもや保護者への支援を小学校へつなぎ、就学後も適切な支援を行うため、保育施設と小学校の合同情報交換会の開催や「すこやか伝達シート」等の就学引継ツールや個別の教育支援計画により、就学先の小学校への情報提供を行った。</li> <li>・心身の発達や特別な支援の必要性を感じている児童の保護者に向けた就学相談会等を行い、就学に係る保護者の相談に応じた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同情報交換会：小学校23校（全校）</li> <li>・1年生アドバイザー小学校訪問回数：165回</li> <li>・1年生アドバイザー保育施設等訪問回数：76回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
8	1	2	共生型サービスの普及検討
担当課			R7年度評価
長寿社会課、障がい者支援課 こども政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生型サービスが適切に提供されるよう、サービス事業者等に対し、運営等の基準や報酬の仕組み等について、必要な情報提供を行うとともに、他自治体の取組事例について調査に努める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者から相談があった際、適切な情報提供やサポートができるよう体制を整える。</li> <li>・会議での情報提供やホームページ掲載等の機会をとらえて制度の周知を図る。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【長寿社会課】 【障がい者支援課】 【こども政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者からの相談に際して、情報提供等の対応を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
9	1	2	地域ケア会議の充実
担当課			R7年度評価
長寿社会課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・市内の各地域包括支援センターが各地区等で開催する地域ケア会議を通じて明らかとなった地域課題について、全市的な地域ケア会議である「米子がいなケア会議」において、医療、介護、予防、生活支援、住まい等の総合的視点から議論を行い、新たな福祉等サービスの構築や高齢者等への支援体制の整備につなげることで、本市の地域包括ケアシステムの推進及び強化を図る。</p>			<p>・地域ケア会議の開催回数（年150回）</p> <p>・がいなケア会議開催回（年2回）</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【長寿社会課】</b></p> <p>・地域ケア会議の内容や進め方等について、各地域包括支援センターと綿密な意見交換を行い、開催回数ありきではなく、会議内容の充実・強化に重きを置いて取り組んだ。また、各センターからの政策提言を基にした米子市地域ケア会議（米子がいなケア会議）を開催し、R6年度の各センターからの提言をもとに、移動支援や身寄りのない高齢者等への支援など具体的な取組につなげた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・地域ケア会議（個別・推進）：85回開催（※地域包括支援センター主催）</p> <p>・地域ケア会議（自立支援型）：20回開催（※地域包括支援センター主催）</p> <p>・米子市地域ケア会議（がいなケア会議）：1回開催（※米子市主催）</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
10	1	2	給付体制の適正化
担当課			R7年度評価
福祉政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿社会課、障がい者支援課における実地指導について、公的サービス給付の適正性のチェックを始めとした適切な指導が行える体制を整備する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・原課にて公的サービス給付の適正性チェック等を担保できる適切な指導体制を整備することを目的として、効率的な指導方法を検討し、必要に応じて実地指導に同行する。</li> <li>・原課の指導監査体制の整備及び実地指導スケジュールの進捗確認</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き指導スケジュールを策定し、対象事業所の優先順位を付け、指導の役割分担を行うことで運営指導の効率化を図った。</li> <li>・主眼及び着眼点（指導の際のチェックポイント）の見直しを行い、指導内容及び体制の整備を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同行件数：14件</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
11	1	2	断らない相談体制の推進
担当課			R7年度評価
福祉政策課、職員課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・主に市民対応を行う関係課に「断らない相談マネージャー・サブマネージャー」を配置し、各課における断らない相談体制が促進されるよう啓発を行うとともに、「断らない相談マネ・サブマネ会議」を実施し、意識の共有を図る。</p> <p>・各課において相談者の主訴を的確に捉えるよう丁寧に対応し、他部署につながる場合は「つなぐシート」の活用や、事前連絡を行うなど、相談者をスムーズに必要な支援につなげる。</p> <p>・職員に対し継続的に研修を実施し、断らない相談体制の浸透を図る。</p>			<p>・「断らない相談マネ・サブマネ会議」の開催（年4回）</p> <p>・新規採用職員に対して年1回、研修を実施する。また、定期的に研修を実施し、断らない相談体制の浸透を図る。</p>
R7年度評価の理由等			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「断らない相談サブマネージャー会議」を開催し、庁内連携の強化に努めた。</li> <li>・新規採用職員に対して、重層的支援体制整備事業の取組、断らない相談や対人援助についての研修を実施した。</li> <li>・福祉保健部内の職員（主に相談対応をしている者、配属されて2年以内の者）を対象に、福祉窓口等における相談対応についての研修を実施した。</li> </ul> <p><b>【職員課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員に対して年1回、研修を実施した。また、定期的に研修を実施し、断らない相談体制の浸透を図った。</li> </ul>			
実績			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断らない相談サブマネージャー会議」の開催：年3回</li> <li>・新規採用職員に対しての研修：1回</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
12	1	3	通報先・相談先の周知徹底
担当課			R7年度評価
こども相談課、長寿社会課 障がい者支援課、福祉政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・様々な機会を捉えて、市民に対し、虐待の通報先、子育て、介護及びヤングケアラー等に関する相談先の周知を図る。</p>			<p>・保育施設や小中高校、子育て支援施設、公民館等でのポスター掲示、リーフレット配付等により、理解促進と相談先の周知拡大を図る。</p> <p>・地域包括支援センターによる情報提供や広報よなご・ホームページ等により、通報先や相談先の周知を図る。</p> <p>・様々な研修や情報提供の機会を捉えて、障がい者虐待や事象の通報先について周知を図る。</p> <p>障がい者虐待に関する研修、情報提供機会の回数 5回/年</p> <p>・「えしこに」をはじめとする、各種相談機関の周知を図る。</p> <p>・児童虐待防止啓発・児童虐待の通報先及び子育てに関する相談先の掲示物等の配付（ポスター配付：子育て・教育施設及び公民館等/年1回、リーフレット配付：幼保・こども園及び小中学校の児童生徒/年1回）</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【こども相談課】</b></p> <p>・児童虐待、子育てやヤングケアラー等に関する相談先の周知に向け、子育て・教育施設及び公民館等にリーフレットやポスター等を配付し、市ホームページやよなごこポータルサイトにも掲載した。また、児童虐待に関する相談先のリーフレットを全小中学校児童生徒に、ヤングケアラーチャット相談のカード・はがきを市内全中学校生徒及び全高校生年齢相当者に配付し、周知を図った。</p> <p><b>【長寿社会課】</b></p> <p>・地域包括支援センターによる情報提供やホームページ等により、通報先や相談先の周知を図った。</p> <p><b>【障がい者支援課】</b></p> <p>・障がい福祉に関する事業所や一般市民が受講する研修の場において、障がい者虐待の疑いのある事象に接した際の対応に関して周知を図った。</p> <p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・定期発行している「ふれあいの里総合相談支援センターニュース」を市ホームページへ掲載するとともに、公民館や図書館等への配架や、自治会長会、民生児童委員総会など地域組織の会において配布を行い、「えしこに」の取組や役割について広く周知を行った。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・障がい者虐待に関する研修、情報提供機会の回数：4回（R7.8月市民後見講座、9月われもこう、おおぞら、R8.1月養和会）</p> <p>・児童虐待防止啓発・児童虐待の通報先及び子育てに関する相談先のポスター等配布・ホームページ掲載：各1回</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
13	1	3	関係機関の連携の充実・強化
担当課			R7年度評価
こども相談課、長寿社会課 障がい者支援課、福祉政策課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・虐待予防・防止、早期発見、早期対応を図るため、米子市要保護児童対策地域協議会などの関係機関のネットワークや民生委員・児童委員を始めとする地域住民の見守り活動と、各種相談事業所等、虐待を発見し得る機関との連携の充実・強化を図る。</p>			<p>・要支援者に適切な支援が届くように、必要に応じて米子市要保護児童対策地域協議会個別ケース会議を開催する。</p> <p>・要支援者に適切な支援が届くように必要に応じて各課・関係機関と支援会議を開催する。</p> <p>・各種相談事業所等、虐待を発見し得る機関と、民生委員・児童委員や在宅福祉員など、地域住民による見守り活動との連携を支援する。</p> <p>・虐待疑い事象の早期発見を実現するための、関係機関との連携・連絡体制の強化</p>
R7年度評価の理由等			
<p>【こども相談課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適時に個別ケース会議を開催し、適切な援助を実施するため、関係機関と方針と役割分担を検討し、対応した。</li> </ul> <p>【長寿社会課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待通報を受けた際には、関係機関と連携し迅速に対応し、必要に応じて支援会議を開催した。</li> </ul> <p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待疑い事象への対応に関し、関係機関との連携・連絡体制の強化のため対応フロー図を作成、共有を図り、迅速な対応を行った。</li> </ul> <p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースに応じて対応方針の整理が必要な事案については、関係機関と連携して役割調整を行った。</li> </ul> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との支援会議を必要に応じて開催し、ケースごとに連携した対応を行った。</li> <li>・地域で見守り活動を行う民生委員・児童委員や在宅福祉員に対し、各団体の会等において、異常に気づいた場合は支援者や相談窓口につないでくださるよう呼びかけた。</li> <li>・子育て世帯やひとり親家庭、複合的な課題のあるケースの相談も多く、行政の担当部署等関係機関につなぐなど連携しながら支援を行っている。</li> <li>・特に80歳以上の高齢者のみ世帯については、在宅福祉員から民生児童委員、包括支援センターへつなぐ体制が構築されている。</li> </ul>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市要保護児童対策地域協議会個別ケース会議：160回</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
14	1	3	関係機関への研修の実施・啓発活動の推進
担当課			R7年度評価
こども相談課			A
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・児童虐待を未然に防止するため、米子市要保護児童対策地域協議会主催の児童虐待に関する関係機関向けの研修会を実施する。</p> <p>・関係機関と連携して啓発活動に取り組み、地域における児童虐待防止の意識の高揚を図る。</p>			<p>・関係機関向けの研修会の実施（年1回） （R7年度については、市民向けの研修会も1回行う予定）</p> <p>・児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー参画、啓発作品募集・展示及びライトアップ（年1回）</p>
R7年度評価の理由等			
<p>【こども相談課】</p> <p>①関係機関向け研修 「知っていますか？『こどもの権利』～こどもの権利擁護と多職種多機関連携～」 受講者数 70名</p> <p>②市民向け研修 「行き渋りのあるこどもの心に寄り添う」 受講者数 99名</p> <p>・児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー参画、啓発作品募集・展示及びライトアップ（年1回）</p> <p>・研修会、啓発事業ともに計画どおり実施でき、多くの受講者、参加者があった。研修後アンケートでは、理解度や有用性など高評価だった。</p>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <p>・関係機関向け研修：1回、市民向け研修：1回</p> <p>・児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー参画、啓発作品募集・展示及びライトアップ：1回</p>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
15	1	4	市民後見人の養成及び活動支援
担当課		R7年度評価	
福祉政策課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・市民後見人養成講座の開催を通じて、市民後見人の育成と確保に取り組むとともに、市民後見人養成講座修了者が修得した知識・技能を活かせる機会について検討し、活動者数の増加を図る。</p>		<p>・市民後見人養成講座の開催（参加者数：年25人）          ・市民後見人養成講座修了者が、市民後見人として活動をしてもらうほか、日常生活自立支援事業の支援員として権利擁護支援にも関わっていただけるよう、情報提供やフォローアップを行う。</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・R7.5～R8.2の期間で市民後見人養成講座を実施（委託）。</p> <p>・修了者と現役の市民後見人との意見交換や情報提供を目的とした「市民後見人のつどい」を開催した（委託）。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・市民後見人養成講座修了者：25人</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
16	1	4	法人後見事業の推進
担当課			R7年度評価
市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活自立支援事業と連携し切れ目のない支援を行うため、市社協として法人後見事業の実施について研究、検討する。</li> <li>・一般社団法人権利擁護ネットワークほうきの団体社員として受任しながら経験を蓄積し、法人後見受任に向けた体制整備を進める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人権利擁護ネットワークほうきの団体社員として、法人後見受任を継続する。</li> <li>・後見業務を担当できる人材の育成、支援の質の向上のため、市民後見人養成講座を受講する。</li> <li>・法人後見延べ受任件数（R11年度末時点：3件）</li> <li>・後見人担当者の増員（R11年度末時点：3名）</li> </ul>
R7年度評価の理由等			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活自立支援事業利用者で成年後見に移行したケース1件の受任を継続し、制度や支援方法についての理解を深めた。</li> <li>・R8年度に法人後見受任 1件追加予定。</li> <li>・市民後見人養成講座受講職員を毎年増やしていく。</li> </ul>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人養成講座受講職員：累計3名</li> <li>・法人後見延べ受任件数：1件</li> <li>・法人後見担当職員：2名</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
17	1	4	成年後見制度の適切な利用
担当課			R7年度評価
福祉政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・「米子市成年後見制度利用支援計画」に基づき、成年後見制度の利用が必要と思われる方に対し、市長による後見人選任の申立てなど、成年後見制度利用支援事業による支援を行う。</p>			<p>・成年後見制度の中核機関である総合相談支援センター「えしこに」における一次相談と必要に応じた関係機関とのチーム支援による成年後見制度の利用支援を実施する。</p>
R7年度評価の理由等			
<p>【福祉政策課】</p> <p>・成年後見制度の一次相談窓口として相談対応を行い、必要に応じ市長申立てを実施したほか、権利擁護の相談についても関係機関と連携して支援を行った。</p>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <p>・新規相談受付件数：112件、市長申立て実施件数：11件</p>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
18	1	4	日常生活自立支援事業の推進
担当課			R7年度評価
市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の日常的な金銭管理を通じ、他の支援者と役割分担をしながらチームとして自立に向けた支援を行う。また、成年後見への移行を円滑に行えるよう関係機関と連携する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機案件の減少をめざす</li> <li>・ケース総数60件を上限とし、新規契約締結数（年4件）</li> </ul>
R7年度評価の理由等			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機者に対してアセスメント、課題把握を行い、本事業以外の対応方法の検討や、他制度へつなぐ等の支援を行っている。</li> <li>・待機状態であっても、関係機関と情報共有し、訪問、電話、ケース会議参加等により待機解消または課題解決に向けた取組みを行っている。</li> <li>・相談者の中で、家計管理が必要な5件については、家計改善支援事業につなぎ、伴走支援を行っている。</li> </ul>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース数：52件（R7年度末時点）</li> <li>・待機件数：16件（R7年度末時点）</li> <li>・新規契約件数：2件</li> <li>・事業問合せ件数：40件（うち利用申込者：11件）</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
19	1	5	各種健康診査や検診の啓発・周知
担当課			R7年度評価
健康対策課			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健推進員や医療機関と連携を図り、各種健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等に関する情報発信を行うとともに、受診勧奨を行う。</li> <li>・働き世代の受診の機会を広げるため、医師会等と連携を図りながら、休日検診、セット検診を行う。</li> <li>・職域との連携を強化し、職域で健康診査や検診を受ける機会がない人に対する働きかけを行う。</li> <li>・健康増進普及月間キャンペーン等幅広く健診やがん検診の啓発を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率（推奨年齢）：目標値50%以上</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【健康対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の取組に加え、がん啓発イベントを実施（保健所共催）。その他イベントで啓発。また、公民連携対話窓口「いっしょにやらいや」による啓発動画を市内サイネージ10箇所、一部医療機関、リモート運動体験で放映。SNSや市ホームページにも掲載。</li> </ul> <p>しかし、受診率は全体的に昨年度より下がり、R5年度並み。子宮、乳がん検診は50%の目標値に達しているが他のがん検診は達しなかった。</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率（推定年齢）</li> </ul> <p>胃38.6%、大腸24.8%、肺22.0%、子宮61.1%、乳51.8%</p>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
20	1	5	地域での健康づくりの促進
担当課			R7年度評価
健康対策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域診断を実施し、地域の特性に合わせた保健活動につなげる。</li> <li>・健康相談、まちの保健室等、各種健康教室の機会を利用し、大学や医療機関等と連携しながら、市民一人ひとりに合わせた生活習慣改善について支援する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談の利用者数の増加</li> <li>・健康教育の利用者数の増加</li> </ul>
R7年度評価の理由等			
<p>【健康対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談、健康教育に加え、健康増進キャンペーンを市内3会場で実施、178人来場。健康チェック等を行った。</li> <li>・地域診断した内容を各地区に啓発することができた。</li> </ul>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談の利用者数：3,215人、健康教育の利用者数：7,795人</li> <li>・地域診断数：11圏域</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
21	1	5	食生活改善への支援
担当課			R7年度評価
健康対策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員と連携を図り、各公民館で伝達講習会を実施するなど、健全な食生活の実践の大切さを広く市民に普及する。</li> <li>・生活習慣病予防のため、食生活改善推進員や保健推進員との協働による講習や調理実習などを通して、健全な食生活に関する情報提供や啓発を実施するとともに、その他栄養相談、指導を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防の講習や調理実習への参加者数の増加</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【健康対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種教室に加え、公民館における健康相談時や健康増進普及月間キャンペーン等、さまざまな機会を捉えて、健全な食生活の実践につながる知識の普及に取り組んだ。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防の講習や調理実習への参加者数：453人</li> </ul>			

【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
22	1	5	ふれあい・いきいきサロンの充実
担当課		R7年度評価	
市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・ふれあい・いきいきサロン活動で行う介護予防の取組について、情報提供や講師派遣などの支援を充実させることで高齢者の健康づくりを促進する。</p> <p>・サロン世話人研修会等の様々な機会を捉え、世話人同士の交流や連携を図るとともに、サロン活動の効果等を伝えたり、活動についての相談を受け付けるなど、世話人や参加者が楽しく活動を続けられるよう支援する。</p>		<p>・サロンへの健康づくりに係る講師派遣（年60回）</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <p>・サロン情報交換会を開催し、サロン活動者の交流や連携を図るとともに、地域包括支援センターの職員にも参加を呼びかけ、包括を参加サロンへつなぐ役割も果たした。</p> <p>・サロンへの講師派遣について、R7年度より健康対策課とフレイル対策推進課は各課へ直接申し込みになったため、件数に含んでいない。（R6年度実績10件）</p> <p>・健康づくりに係る講座以外にも、米子市や企業と連携して講師派遣を58件実施した。（市社協実施19件を含む）</p> <p>・サロン情報交換会で得た情報を、地区社協の活動やサロン活動の参考とされており、参加者の満足度が高い。</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度末実績】</p> <p>・サロンへの健康づくりに係る講師派遣：55件 内訳：講師派遣リスト：53件（市社協実施の31件を含む）、事業所等の紹介：2件</p>			
【自己評価の基準】			

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
23	1	5	認知症の正しい理解の促進・早期発見の推進
担当課		R7年度評価	
長寿社会課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催など、認知症の正しい理解を深めるための取組を推進する。</li> <li>・認知症サポーター養成講座を修了した方を対象とした認知症サポーターステップアップ講座を実施し、実践の場で必要となる知識・技術の修得を推進する。</li> <li>・認知症の早期発見のため、公民館祭等、様々な機会を捉えて、認知症の簡易検査を行い、必要な人はその後の支援につなげる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 累計受講者数（R11年度末時点：28,500人/年：1,000人増）</li> <li>・認知症サポーターステップアップ講座 累計受講者数（R11年度末時点：340人/年：60人増）</li> <li>・認知症の本人が発信する機会（年20回）</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【長寿社会課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座については、地域や小学校での開催に加え、市主催での講座開催や市職員、民間企業を対象とした講座を実施した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座累計受講者数：25,769人</li> <li>・認知症サポーターステップアップ講座累計受講者数：59人</li> <li>・市の取り組みに本人が参画した回数：6回</li> </ul>			
<b>【自己評価の基準】</b>			

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
24	1	5	フレイル予防の推進
担当課			R7年度評価
フレイル対策推進課 健康対策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の要支援・要介護認定のない人を対象に、フレイル度チェックを実施し、その結果に応じた予防実践プログラムを提供する。</li> <li>・フレイル度チェックの結果、フレイルと判定された人の中でも一定程度フレイルリスクの高い人（フレイル度チェックの点数の高い人）に対し、委託事業者及び地域包括支援センターによる個別訪問を実施し、自らの健康状態に関心を持つきっかけをつくり、フレイル予防の行動化につなげる。</li> <li>・地区組織やサロンなど市民が集まる場での啓発に加え、個別訪問でフレイル予防啓発を行う。</li> <li>・生活習慣病予防（適塩推進）と低栄養予防に関する啓発・保健指導を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定開始年齢（R11年度末時点：83歳）</li> <li>・R11年度において、介護認定率を第10期介護保険事業計画によって定められた計画値より下回らせる【参考】第9期計画でのR12推計値：23.2%</li> <li>・毎年開催している生活習慣病予防と低栄養予防に関する講座等を継続して開催する。（R11年度末時点：各公民館区域で各1回以上）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【フレイル対策推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル度チェックを実施し、その結果に応じて予防実践プログラムを提供した。 フレイル度チェック実施回数：延べ16,505回 フレイル予防実践教室参加人数：182人</li> <li>・希望者に対する個別訪問に加え、フレイル度チェックの結果に応じた個別訪問を実施した。 個別訪問（委託事業者・地域包括支援センター）：387人</li> <li>・29公民館区域で生活習慣病予防・低栄養について啓発を行った。個別では生活習慣病予防38人、低栄養15人に保健指導を行った。</li> <li>・フレイル度チェックの回答数や運動体験への参加人数は年々増加しておりフレイル予防に関する取組の広がりがみられる。こうした状況の中で、介護認定開始年齢は全体として緩やかな上昇傾向にあるため。</li> <li>・委託事業者及び地域包括支援センターによる個別訪問を通じて、住民のフレイル予防に関する啓発を行った。</li> <li>・生活習慣病予防・低栄養に関する啓発・保健指導を、全29区域で実施することができた。</li> </ul> <p>【健康対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全29公民館区域で生活習慣病予防・低栄養について啓発を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護認定開始年齢：82.29歳</li> <li>・R11年度の介護認定率は未定 ※第10期介護保険事業計画（R9～R11）策定中</li> <li>・29公民館区域で、個別では生活習慣病予防38人、低栄養15人に保健指導を実施</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
25	1	6	障がい者の就労支援・雇用の促進
担当課			R7年度評価
障がい者支援課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校の生徒について、学校、相談支援事業所、就労する事業所等と連携し、卒業生の就労及び定着を支援する。</li> <li>・企業における障がい者雇用の促進を図るため、ハローワークにおける雇用拡大や企業開拓の取組との連携を図る。</li> <li>・特別支援学校での相談会等に参加し、卒業後の就労に向けて支援する。</li> <li>・事業所（企業）の障がいに対する正しい理解の促進と障がいのある人の受入・職場定着の促進に向け、ハローワーク等の関係機関との連携を強化する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉的就労を希望する特別支援学校の生徒については、学校、相談支援事業所、就労する事業所等と連携し、就労及び定着を支援する。（特別支援学校の生徒の移行支援会議への参加を継続するなど）</li> <li>・ハローワークや障害者就業・生活支援センター等と連携して一般就労への移行や職場定着のための就労支援体制の構築を図る。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校での相談会や移行支援会議に参加している。</li> <li>・就労継続支援事業所等の訪問時に一般就労への移行について働きかけを行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
26	1	6	ひとり親家庭に対する自立支援
担当課		R7年度評価	
こども支援課 こども相談課（担当課追加）		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・ひとり親家庭の父母の自立に関する相談に応じ、ハローワーク等と連携した就労支援や福祉資金貸付の活用、資格取得に関する給付など、相談者の状況に応じて自立に向けた支援を行います。</p>		<p>・自立支援に向けたプラン（自立支援プログラム）による達成度</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【こども相談課】 【こども支援課】</p> <p>・達成度 100%（2件受理。自立支援プログラム完了1件、継続中 1件）</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり</p>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
27	1	6	福祉有償運送の実施
担当課			R7年度評価
障がい者支援課			A
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・NPO法人等が事業主体となる「福祉有償運送」について、福祉有償運送運営協議会において事業の必要性を検討するとともに、必要に応じた情報提供等を行い、安全かつ適正な事業実施を図る。</p>			<p>・福祉有償運送運営協議会を開催し、事業の必要性を検討するとともに、新規登録及び更新等を行う事業者について審査を行う。</p> <p>・R7年度に福祉有償運送運営協議会を西部圏域で統合する。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【障がい者支援課】</b></p> <p>・R7年度中に米子市福祉有償運送運営協議会と鳥取県西部地域福祉有償運送運営協議会の統合を行った。運営協議会についても、更新事業者に影響を及ぼすことなく開催し審査を行った。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・運営協議会：2回開催</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
28	1	6	障がい者のタクシー及びバス料金の助成
担当課		R7年度評価	
障がい者支援課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度障がいがある人の社会参加を支援するため、福祉タクシー利用券を交付し、タクシーの初乗り料金相当額を助成する。</li> <li>・障害者手帳を所持する方について、社会参加の支援のため、路線バス料金を半額とする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいがある人の社会参加を支援するため、福祉タクシーチケット券助成事業を継続して実施し、必要な方へ適切に助成する。</li> <li>・タクシーチケット助成事業の継続</li> <li>・路線バス料金半額化の継続</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーチケット券助成事業について、対象の方への周知、交付について確実に実施した。</li> </ul> <p>路線バス料金半額化についても、手帳交付時に案内し、利用促進に努めた。</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R6年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・400件 金額：3,811,680円</li> </ul> <p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・413件 金額：3,923,310円</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
29	1	6	高齢者等の移動支援
担当課			R7年度評価
交通政策課、長寿社会課 障がい者支援課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・住民活動等、ボランティアによる高齢者及び障がい者の通院、買い物等の移動手段の確保に向けた支援を検討する。</p> <p>・高齢者の移動困難者の移動手段の確保に向けて、市内循環バスなど公共交通機関を活用した支援を検討する。</p>			<p>・住民活動による移動支援の取組について、側面的支援を継続するとともに、福祉施策と連携した課題解決の方法を検討する。</p> <p>・高齢者等の移動手段の確保については、バス定期助成を継続しつつ、路線バス再編と併せたコミュニティバスの充実を図る。</p> <p>・訪問型サービスD（介護保険総合事業）実施団体数（R11年度末時点：3団体）</p> <p>・ボランティアによる移動手段の確保について検討される際には、地域福祉活動支援員(CW)が情報提供等、必要な支援を行う。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【交通政策課】</p> <p>・高齢者等の移動手段の確保については、バス定期助成（グランド70）を継続しつつ、郊外のエリアにおけるコミュニティバスの充実を図った。</p> <p>【長寿社会課】</p> <p>・訪問型サービスDについては、鳥取県内初となる取組として、R7年度に事業実施となり、3団体が登録され、その内、1団体が事業実施となった（2団体はR8年度より実施予定）。また、移動支援ボランティア養成講座を実施し、担い手拡大にも取り組んだ。R8年度は、実施団体及び担い手の更なる拡大をめざし、移動支援ボランティア養成講座の実施や各種情報発信に取り組む。</p> <p>【市社協】</p> <p>・市社協が訪問型サービスD実施団体となり、住民の参加・協力のもと五千石地区でモデル的に買い物支援事業を開始した。</p> <p>・県地区においてボランティアによる移動手段の拡充について検討されていたため、長寿社会課等とともに情報提供や助言を行い、新たな事業の実施に向けた支援を行った。</p> <p>・訪問型サービスD実施団体として、新たな移動支援の事業をモデル的に実施するとともに、事業所と住民が協働で行う移動支援の手法として情報発信できたため。今後も、研修会や社協のネットワークを通じて発信していく予定。</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R6年度実績】</p> <p>・バス定期助成（グランド70）：676件</p> <p>・訪問型サービスD（介護保険総合事業）実施団体数：なし（新規取組）</p> <p>【R7年度実績】</p> <p>・バス定期助成（グランド70）：721件</p> <p>・コミュニティバス「みのりんバス」実証運行開始、コミュニティバス「よねぎーバス」実証運行継続（※R8年4月1日より本格運行開始）</p> <p>・訪問型サービスD（介護保険総合事業）実施団体数実：3団体（うち1団体事業実施）</p>			
【自己評価の基準】			

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
30	1	6	生活困窮者への居住・就労支援
担当課		R7年度評価	
福祉課 市社協		C	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・自立相談支援事業による就労支援と、住居確保給付金事業等の必要な事業を組み合わせ、生活困窮者の就労や住まいの確保に向けて一元的な支援を行う。</p>		<p>・相談者のうち、一般就労開始者の割合（R11年度末時点：50%以上）、就労収入増加者の割合（R11年度末時点：60%以上）</p> <p>・支援により住まいが確保できたケース（R11年度末時点：50%以上）</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【福祉課】 【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク等関係機関とも連携し就労に向けた支援を行った。</li> <li>・一般就労、障がい者枠就労に至るケースもあれば、就労までに職場体験、トライアル雇用、職業訓練校受講など様々な支援を要するケースもある。</li> <li>・住まいの確保については住宅確保給付金制度の活用を中心に相談支援を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R6年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般就労開始者：33%、収入増加者：32%</li> </ul> <p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般就労開始者の割合14.4%、就労収入増加者の割合13.8%</li> <li>・住まいが確保できたケース26%</li> </ul>			
【自己評価の基準】			

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
31	1	6	住宅確保要配慮者の居住の安定の確保
担当課			R7年度評価
住宅政策課			A
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居のため、鳥取県居住支援協議会や庁内関係課、市内の不動産関係団体、福祉関係団体、居住支援法人等と連携し、重層的な住宅セーフティネットの構築を図る。また、米子市居住支援協議会の設置に向けて検討を進める。</li> <li>・住宅確保要配慮者がセーフティネット専用住宅に入居する際の家賃低廉化及び家賃債務保証料低廉化事業を実施する。</li> <li>・市営住宅の適切なストック管理に努めつつ、住宅確保要配慮者の住宅確保に取り組む。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・（R7年度）米子市居住支援協議会の設置（R7年10月）に向けた関係団体との協議の実施</li> <li>（R8年度以降）米子市居住支援協議会等における関係団体との協議の実施</li> <li>・家賃低廉化事業実施件数（R7年度～R11年度累計：16件）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【住宅政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標としていた米子市居住支援協議会の設置（R7年10月）を達成したため。</li> <li>・家賃低廉化事業実施件数については計画期間内に指標を達成できるペースで進捗しているため。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年10月に米子市居住支援協議会を設置した</li> <li>・家賃低廉化事業実施件数：3件</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
32	2	7	各種募金や寄附活動の促進・資金調達の支援
担当課			R7年度評価
市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・市民や企業等に働きかけ、各種募金・寄附活動を促進するとともに、「福祉の地域づくり自動販売機事業」を推進するなど、住民活動や福祉団体活動に資する財源の確保に努める。</p> <p>・地域福祉を応援する方法の一つとして寄附を身近に感じてもらえるよう、既存の方法以外に寄附のしやすい仕組みをつくる。</p> <p>・様々な補助金や民間助成金制度、その他資金調達に関する情報を提供し、その申請事務等を支援する。</p>			<p>・地域福祉活動に活用するための新たな仕組みによる寄附や新規収益事業による収入額（R7年度～R11年度累計：50万円）</p> <p>・ホームページやSNSを活用した補助金や助成制度の情報提供の仕組みをつくる。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【市社協】</b></p> <p>寄附や新規収益事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機の新設 2台</li> <li>・PayPayの二次元コードによる寄附を導入</li> <li>・他事業者と協力し、寄附を受け付ける取組に参画。こども向けイベント時に絵本の再利用ブースを設けて寄附を募ることで、小さな頃から寄附を身近に感じてもらえるよう働きかけた。</li> <li>・新たな仕組みによる寄附や事業を始めたが、開始したばかりのため効果はまだ出ていない。</li> </ul> <p>補助金や助成制度の情報提供の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやSNSを活用した補助金や助成制度の情報提供の仕組みはできていない。</li> <li>・補助金等の情報発信については、館内掲示、情報誌への掲載等、継続して行っている。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年新設（12月、3月）の自動販売機の収入額：541円</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
33	2	7	自治会を中心とした地域コミュニティの強化
担当課		R7年度評価	
地域振興課 市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市自治連合会と協働して様々な機会を捉えて、自治会活動の広報を行い、自治会を中心とした関係性が持続できるよう支援する。</li> <li>・マンションや集合住宅などへの働きかけを行い、自治会加入につながるよう理解を求める。</li> <li>・自治会からの相談に応じ、自治会運営の支援を行う。</li> <li>・公民館や自治会、地区社協等が行っている既存の活動（運動会、公民館祭、夏祭り等）は、住民同士がふれあい、交流する大切な機会と捉え、活動が継続できるよう支援する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は地域活動の中心となる自治会の活動を支援し、広報誌の発行や地域活動に関する児童絵画展の実施、各地区での活動を通して、地域活動への参加を促していく。</li> <li>・自治会の円滑な運営のため「自治会運営の手引き」の説明を各地区で行う。（年29地区）</li> <li>・地域の既存の活動が継続して実施されるよう、必要に応じて助言や情報提供等を行う。</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【地域振興課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年度においても広報紙を発行し先進的な自治会、地区の活動について広く広報した。</li> <li>・地域活動感想画については146枚の応募があり、各地区公民館・市役所で展示を行った。</li> <li>・R7年度版「自治会の運営の手引き」の発行・説明会を行った。</li> <li>・各地区自治連合会の取組事例集の発行を行った。</li> <li>・デジタル化を進めている（自治会内の閲覧方法にLINEを活用）自治会間の情報交換会を行い、その後市内全域を対象に研修会を実施したことで、自治会の活動の発展・継続支援につながった。</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で実施される公民館祭や健康まつり等のイベントへの実施協力、既存のサロン活動への助言や活動支援等、対応した。</li> <li>・自治連合会を脱退される自治会が生じた際には、単位自治会として活動継続されるうえでの諸問題について公民館とともに整理し、対応した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報発行：2回、地域活動感想画応募数：146枚</li> <li>・「自治会運営の手引き」配布数29地区</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
34	2	7	地区社会福祉協議会活動の支援
担当課			R7年度評価
市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の地域福祉を推進する団体として、地区社会福祉協議会の活動が更に活性化するように、情報提供や事業の提案等を行う。</li> <li>・住民による地域福祉活動を促進するために、地区社会福祉協議会に対し活動の支援や補助金交付による財源の支援を行う。</li> <li>・地区社会福祉協議会長連絡会、在宅福祉員代表者連絡会の運営に協力し、米子市全体の地域福祉活動の在り方や実践方法について協議する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市全体での会議等を通じ、地区に対して地域福祉活動の在り方や今後の方針の提示、事業提案等を行う。</li> <li>・地区社協会長連絡会の開催（年3回）</li> <li>・地区社協会長連絡会ブロック別研修会の開催（各ブロック年1回）</li> <li>・地区在宅福祉員代表者連絡会の開催（年2回）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協会長連絡会では、米子市介護予防・生活支援総合事業や、社協が行う訪問型サービスDを活用した買物支援事業についての情報提供、地区社協補助金のあり方についての意見交換等を行った。各地区で行われる事業について検討するきっかけや、今後の地区社協への財源支援を含めた市全体の活動について検討する機会とすることができた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協会長連絡会の開催：3回</li> <li>・地区社協会長連絡会ブロック別研修会の開催：各ブロック1回</li> <li>・地区在宅福祉員代表者連絡会の開催：2回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
35	2	7	福祉のまちづくりプランの推進
担当課		R7年度評価	
市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・住民主体による地区単位の地域福祉活動計画である「福祉のまちづくりプラン」の作成を推進し、地域に必要な福祉活動について住民同士で話し合い、取り組んでもらえるよう働きかける。</p>		<p>・福祉のまちづくりプラン新規作成（年2地区）</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <p>・2地区で新たに作成できたため。</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <p>・福祉のまちづくりプラン新規作成：2地区（夜見、五千石）</p>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
36	2	7	住民の力を引き出す社協の支援
担当課		R7年度評価	
市社協		A	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・住民が新たに取り組みたい活動や、既存の活動の困りごとについて地域福祉活動支援員（CW）が相談を受け、活動を支援していきます。</p>		<p>・地域活動について相談を受けた際には、活動の開始や発展につながるよう住民と共に考え、活動を支える。</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の相談を受けた際には、住民の主体性を尊重しながら必要な支援を行った。</li> <li>・立ち上げ支援を行った主な活動：多胎児サークルおさがり会、地区社協主催おさがり会（福生東）、小学生の夏休み学習会（福生西）、てごてごあがた事業拡大（県）</li> <li>・住民や活動者の「やってみたい、こうしたい」という想いに寄り添いながら、事業実施に結び付けられるよう、助言や情報提供を繰り返し行った。既存の活動だけでなく、新たな活動の立ち上げも複数行うことができた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b> R7年度評価の理由等に記載のとおり</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
37	2	8	地域団体ネットワークの充実
担当課			R7年度評価
市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加によるワークショップやアンケート調査、地域に関する客観的指標や社会資源に関する調査・分析等を行うことにより、地域課題の発見・共有を図る。</li> <li>・地域課題の解決に向けて地域で活動する様々な団体が協働して取り組めるよう、地区社会福祉協議会などの既存の組織にも働きかけながら協議の場をつくる。</li> <li>・各地区のネットワークがより充実したものとなるよう、関係する団体・企業等にも働きかける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R11年度末時点：地域連携会議 各地区年2回</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約半数の地区で協議の場を開催・参加したが、年1回だけの会議では課題の共有に留まりがちだった。継続して協議することで、課題の解決やネットワークの充実を図ることができるため、地域連携会議のあり方について、関係機関と協議しながら進める必要がある。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携会議：5地区60回、市全体1回</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
38	2	8	各種学校との連携
担当課			R7年度評価
福祉政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・各種学校と連携し、それぞれの知見を借りながら、福祉課題の解決を図る。また、関西学院大学との連携協定事業を継続する。</p>			<p>・各学校において、地域“つながる”福祉プランの周知を主目的として、交流を通じて専門的な知見、学生の意見を得る。</p> <p>・学識経験者との協議により、福祉課題の知見を得る。（年1回以上）</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・関西学院大学との協定事業を活用し、オンラインにて実施し、専門的な知見を得た。</p> <p>・各学校において福祉教育実施に協力し、第2期米子市地域“つながる”福祉プランの周知を図った。（米子南高校3回、米子養護学校3回、皆生養護学校2回）</p> <p>※参考※</p> <p>フレイル予防の各種イベント（デジタル健康防災フェスタ2025、フレイル予防運動会、フレイル予防講演会、フレ飯コンテスト）を鳥取大学、YMCA、米子高校との連携、協力により実施した。</p> <p>鳥取大学医学部と共同でフレイル予防健診を実施し、自身の身体状況の確認及びフレイル予防の取組につなげた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・関西学院大学オンライン協議：1回</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
39	2	8	社会福祉法人連絡会の充実
担当課			R7年度評価
市社協			A
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で事業を行う社会福祉法人が参加し、情報交換や意見交換を行う「米子市社会福祉法人連絡会」を充実・活性化させ、法人同士の協働による福祉課題の解決に向けた取組につなげる。</li> <li>・地域活動を支援するための事業「地域お助けネットワークよなご」を広く周知し、社会福祉法人と連携した地域活動が増えるよう働きかける。</li> <li>・社会福祉法人と様々な団体や企業の交流の機会を設ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市社会福祉法人連絡会の開催（年2回）</li> <li>・地域お助けネットワークよなご活用実績（年15件）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人連絡会研修会では、初めて法人間で視察研修を行い、他分野の理解と法人間の連携・協働の促進に繋がった。</li> <li>・地域お助けネットワークよなご事業が定着しつつあり、ふれあい・いきいきサロンやこどもの居場所づくりの活動等、広く地域活動に活用された。</li> <li>・地域お助けネットワークよなご活用の手引きは、冊子の配布に加え、各加入法人のホームページ、SNS等に掲載することで、普及啓発に努めた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市社会福祉法人連絡会の開催：2回</li> <li>・地域お助けネットワークよなご活用実績：19件</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
40	2	8	事業者や企業への働きかけ
担当課			R7年度評価
市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・所有する施設の地域活動への貸出や、企業ボランティアとして行事やイベントへ参加するなど、事業者や企業が地域福祉活動に協力するよう積極的に働きかけるとともに、これらの事例を情報発信することで、更に多くの事業所・企業が地域貢献活動へ参加するよう促す。</p> <p>・市社協の賛助会員になることで地域福祉の推進へ寄与できることを事業所や企業へ広く周知し、会員が増加するよう積極的に働きかける。</p>			<p>・事業者や企業と協働した地域福祉活動の実績（年20件）</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【市社協】</b></p> <p>・後藤ヶ丘・加茂包括ケアシステム連絡会によるひとり親家庭を対象とした料理教室等、地域課題に対して法人が連携して行う取り組みが生まれた。</p> <p>・団体が主催するこども向けイベントに協力することで、若い世代に向けて社協活動をPRすることができた。</p> <p>・指標は達成できたものの、事業者や企業に対し更なる働きかけが必要である。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・新たに賛助会員となった企業・団体数：8団体</p> <p>・事業者や企業と協働した地域福祉活動：20件</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
41	2	9	公民館運用の検討と利用促進
担当課			R7年度評価
地域振興課 市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民にとって公民館が集いの場所となるように、公民館職員に対する研修や公民館活動の周知を実施する。</li> <li>・幅広い世代の公民館利用が増えるよう、様々な手段を用いて情報発信を強化する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館職員に対する研修の実施（年5回）</li> <li>・公民館だよりとホームページを中心として、公民館行事やサークル活動など公民館の様々な活動の周知を図る（年12回）</li> <li>・公民館で開催される各種イベントや行事等に、より多くの住民が参加に結びつくよう地域福祉活動支援員（CW）の活動を通して周知する。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【地域振興課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任公民館職員研修のほか、全職員を対象とした救命救急講習や広報研修等を実施し、職務能力の向上を図った。</li> <li>・各館が毎月1回、公民館だよりを作成したほか、ホームページ、InstagramなどICTを活用した各種イベント情報発信を行った。</li> <li>・SNSの公式アカウントを作成し、情報発信を行っている公民館13館</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども服の譲渡会など、地域福祉活動支援員（CW）が関わる公民館で実施するイベントについては、CWの活動や市社協のSNS等を通じて周知を行った。</li> <li>・夏祭りや公民館祭等、公民館の行事を話題に挙げ、地域のみなさんに参加意欲をもってもらえるよう働きかけた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任公民館職員研修のほか、全職員を対象とした救命救急講習や広報研修等を実施し、職務能力の向上を図った：11回</li> <li>・広報だより：年12回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
42	2	9	既存施設の活用促進
担当課			R7年度評価
障がい者支援課 こども施設課、学校教育課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・障がい者の様々な活動の場である「地域活動支援センター」や児童の健全な育成を目的とした「米子市児童文化センター」、地域の児童館や学校などの施設が、地域福祉活動や住民交流、多世代交流の拠点として活用できるよう環境を整える。</p>			<p>・地域活動支援センターの活動について広く周知を図り、地域住民との交流機会となる活動への参加者を増やす。</p> <p>・米子市児童文化センターにおいては、子育て支援事業として、幼児や保護者を対象としたおしゃべり会や外遊びを開催している。また、児童館においては、児童館まつりや三世代交流会等を開催し、地域住民同士の交流や多世代交流を図っている。今後も、住民交流や多世代交流等のための事業やイベントを継続していくとともに、新たなイベントの開催についても検討していく。【R11年度目標値】児童文化センター利用者数190,000人、児童館利用者数（4館合計）30,000人</p> <p>・各児童生徒や学校の実態に応じた交流活動を実施する。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【こども施設課】</b></p> <p>・米子市児童文化センターにおいては、子育て支援事業として、幼児や保護者を対象とした「子育ておしゃべり会」（R7年度11回開催）や「親子で外遊び」（R7年度4回開催）を開催した。</p> <p>また、児童館においては、児童館まつり、文化祭（R7年度は2館でそれぞれ1回開催）、また三世代交流会（R7年度は1館で1回開催）を開催し、地域住民同士の交流を図った。</p> <p><b>【障がい者支援課】</b></p> <p>・地域活動支援センターの事業を通じて地域交流の機会を増やすことができ、障がい者の社会参加を促進することができた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・児童文化センター利用者数：176,683人、児童館利用者数（4館合計）：30,150人</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
43	2	9	地域の居場所づくりの推進
担当課			R7年度評価
こども政策課 人権・男女共同参画課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・「ふれあい・いきいきサロン活動」による高齢者等の居場所づくりを推進し、フレイル予防の促進や個別課題の発見に努める。</p> <p>・子ども食堂や子育てサークルなど、子育て中の親子や若い世代が参加できる住民交流の場づくりを支援する。</p> <p>・隣保館で行う各種教室、健康講座及び交流事業を通じ、居場所づくりを推進するとともに世代間交流を図る。</p> <p>・これらの居場所を結びつけることで、多世代の交流につなげる。</p>			<p>・子ども食堂等の子どもの居場所について、円滑な活動を支援するため、食材の提供元となる協力企業を開拓する。（1年に1件を目標に協力企業を開拓する）</p> <p>・隣保館が行う各種教室等において交流を広げ、福祉の向上及び人権啓発につながるような居場所づくりに努める。</p> <p>・ふれあい・いきいきサロン登録数（R11年度末時点：170サロン）</p> <p>・地域での子ども服の譲渡会の開催 年3回</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【こども政策課】</b></p> <p>・新規企業の開拓には至らなかったが、民間団体と連携した県下一斉フードドライブへの参加やフードバンクポストの増設により、食材回収体制を拡充した。また、食材の提供や広報活動の支援により、子どもやその保護者の交流の場となる子ども食堂等の円滑な活動に寄与した。あわせて、子ども食堂関係者との意見交換会を通じて市の方針共有や要望把握を行い、現状分析と課題の明確化を図った。</p> <p>また、子育て・親育ち講座「タムタムスクール」の開催や子育てサークルの開催支援を通じて、子育て中の親子が参加できる交流の場づくりに寄与した。</p> <p><b>【人権・男女共同参画課】</b></p> <p>・隣保館での各種教室、講座等を通じ、世代間交流、居場所づくりを図った。</p> <p><b>【市社協】</b></p> <p>・新たに立ち上げるサロンがある一方、代表者の疾病や高齢化を理由に廃止するサロンもあり、登録数としては1増にとどまった。</p> <p>・積極的にサロン支援を行ったことで、サロン活動者の負担軽減につながった。</p> <p>・特に、地区社協等が主催で子ども服の譲渡会を行った際には、地域の役員と来場した親子との関わりが促進され、地域交流・多世代交流の貴重な機会とすることができた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・協力企業の開拓：0件、年間食材提供量：930kg</p> <p>・隣保館各種事業（3館）：560回、6,309人</p> <p>・ふれあい・いきいきサロン登録数：153サロン、地域での子ども服の譲渡会の開催：4回</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
44	2	10	支え愛マップ作成・活用の促進
担当課			R7年度評価
市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に対し、支え愛マップの作成を働きかけ、マップ作成過程を通じた地域の災害時避難支援体制の構築を促進する。</li> <li>地域住民主体で行うマップの更新作業やマップを活用した避難訓練に対し、支援や助言を行う等、マップ作成後のフォローを行うと共に、先進事例として積極的に情報発信する。</li> <li>支え愛マップを災害時だけでなく、要支援者に対する日常的な見守り活動に活用し、困りごとの早期発見、解決につながるよう推進する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>支え愛マップ作成済の自治会数（R11年度末時点：140自治会）</li> <li>支え愛マップに関する先進事例や、日頃の地域活動への活用事例などの情報発信（年5件）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マップ作成済自治会は4自治会に留まったが、地域での支え愛マップについての研修会や、中学校での防災イベントでの啓発活動等、災害時の避難支援体制の構築が進むよう努めた。</li> <li>マップ作成後の活用や更新に関する相談対応も行い、地域での具体的な取組としてSNSを通じて情報発信した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支え愛マップ作成済自治会数：107自治会</li> <li>支え愛マップに係る相談支援対応：145件（支え愛マップ作成・更新支援7件含む）</li> <li>支え愛マップに関する情報発信：6件</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
45	2	10	福祉避難所の開設を含む防災訓練等の充実
担当課		R7年度評価	
福祉政策課 防災安全課		C	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・福祉避難所の開設・運営、一般避難所から福祉避難所への移送、一般避難所内の福祉避難スペースの設置等、災害時要配慮者の避難を想定した防災訓練を実施する。訓練には、市民の避難支援を行う福祉事業者に参加を呼びかける。</p> <p>・企業や福祉事業者等に対し、「災害等の発生時における要配慮者の緊急受入れに関する協定書」の締結を働きかけ、福祉避難所の拡充に努める。</p> <p>・福祉避難所運営マニュアルを更新し、福祉避難所における避難支援の在り方や避難者の特性に配慮した物資・機材の備蓄に努める。</p> <p>・一般避難所において、福祉避難スペースを確保するなど、要配慮者に対する良好な環境の整備に努める。</p>		<p>・備蓄品の整備、避難スペースの拡大等既存福祉避難所の機能拡充及び福祉避難所の拡充の働きかけ</p> <p>・福祉避難所に係る防災訓練の実施</p> <p>・福祉避難所近隣の一般避難所における、福祉避難スペース確保のための施設状況の確認（年17件）</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所17事業所を維持した。</li> <li>・災害時要配慮者を想定した防災訓練を年1回実施した。</li> <li>・福祉避難所近隣の一般避難所における福祉避難スペース確保のための施設状況確認は2件に留まった。</li> </ul> <p><b>【防災安全課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年度も福祉避難所訪問を実施し、各施設と施設状況及び受入体制の確認を行い運営体制の充実・拡充を図った。</li> <li>・福祉避難所の物資・機材の整備について、本市予算により、災害用おむつ等を整備した。また、一般避難所における要配慮者の対応として、簡易ベッドやパーテーションの備蓄増強を行った。</li> <li>・鳥取防災フェスタにて関係機関と連携し、福祉避難訓練を実施した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所：17事業所、福祉避難所への聴取り：年1回</li> <li>・福祉避難所に係る防災訓練の実施件数：1回</li> <li>・福祉避難スペース確保のための施設状況の確認：2件</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
46	2	10	災害ボランティア等の体制整備
担当課		R7年度評価	
防災安全課 市社協		C	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害発生時に開設する「米子市災害ボランティアセンター」運営体制の整備を行う。</li> <li>・米子市災害ボランティアセンター活動マニュアルに基づき、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施する。</li> <li>・DWATの研修受講と登録について職員に働きかけ、全国の大規模災害被災地へ職員を派遣して被災地支援を行うとともに、災害に対応できる職員の育成に取り組む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施（R11年度までに2回）</li> <li>・市社協職員のDWAT研修受講者（R7年度～R11年度累計：5名）</li> <li>・被災地への職員派遣を積極的に行う。</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【防災安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、当センターにおけるスペースや方針等については関係機関と要協議。</li> </ul> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R8年度の災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施に向け、他自治体での訓練や研修会に参加して情報収集・準備に努めた。</li> <li>・県社協からの派遣要請を受け、南部町災害ボランティアセンターに速やかに職員を派遣した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施：なし</li> <li>・市社協職員のDWAT研修新規受講者：1名</li> <li>・被災地への職員派遣：2名</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
47	2	10	地域防災力の向上
担当課			R7年度評価
地域振興課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の活動が活性化するよう、活動への助言や支援を行う。</li> <li>・防災士の育成に努めるとともに、活躍の機会を提供し、災害時に頼りとなる人材育成を進める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や訓練指導等による積極的な活動支援を行う</li> <li>・防災士がスキルアップできる学習の場の提供</li> <li>・防災士と連携した防災訓練等の実施</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【地域振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座等による防災講習や防災訓練の活動支援などを行った。</li> <li>・防災士のさらなるスキルアップを目的とした防災スクールを開校し、現場での応用力、実践力の向上を図った。</li> <li>・防災士と連携した防災訓練等の実施</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や訓練指導等による活動支援：65回</li> <li>・防災士がスキルアップできる学習の場の提供：5回</li> <li>・防災士と連携した防災訓練等の実施：1回</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
48	2	10	個別避難計画作成の推進
担当課			R7年度評価
地域振興課、防災安全課 長寿社会課、障がい者支援課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・災害時、支援が必要な方が、適切に避難できるように、本人、地域住民、関係機関と協力し個別避難計画の作成を推進する。</p>			<p>・作成希望者に対し、速やかに個別避難計画の作成を実施。</p> <p>【R6年度実績】作成希望者に対し個別避難計画の作成を実施。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【地域振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画の作成を実施</li> </ul> <p>【防災安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係各課と連携し、各地域の作成希望者に対して、聴取り調査及び説明を行った。</li> <li>各課と今後の方針について協議した。</li> </ul> <p>【長寿社会課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7年度対象地区において個別避難計画の作成を行った。</li> </ul> <p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R7年度の計画作成対象地区の希望者に対し、個別避難計画の作成を実施した。</li> <li>災害時の緊急受入協定の締結先施設及び避難先として協定締結先の施設を指定している者について、状況や環境の変化等を随時確認して情報の更新や共有を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画の作成を実施：9地区 ※R7年度で市内全地区を一巡した。</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
49	2	11	自死に対する知識の普及啓発・ゲートキーパーの養成
担当課		R7年度評価	
健康対策課 学校教育課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・公民館で行われる健康講座や各所でのイベントなど、様々な機会を捉えて、地域住民、企業、事業者等、幅広く自死に対する知識の普及啓発活動を行うとともに、市の職員に対するゲートキーパー養成研修を実施する。</p> <p>・学校の児童生徒に対し、命の尊さを学び、辛いときや苦しいときに助けを求める力を育てるための教育を実施する。</p> <p>・中学生や高校生に対し、ゲートキーパーとしての役割が担えるよう、友人や家族の悩みに気付き、必要な支援につなぐ力を育てるための教育を実施する。</p>		<p>・公民館等での自死・ゲートキーパーに関するミニ講話の実施回数、人数の増加。</p> <p>・小中学校において、児童生徒がお互いを思いやり、助け合う心情を育むための取組を継続する。(小中サミット開催：年1回)</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【健康対策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員研修にてゲートキーパー講話実施。職員掲示板にて啓発（9月自死予防週間に合わせて4回配信）</li> <li>・県主催の街頭キャンペーンに参加し啓発</li> <li>・地区でのゲートキーパー普及啓発を地道に継続できている。</li> </ul> <p><b>【学校教育課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中サミットを開催し、安心・安全な学校、楽しい学校にするための取組を行うことができたため。(小中サミット開催：年1回)</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等でのミニ講話：36回 595名、講演会1回 37名</li> <li>・小中サミット開催：1回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
50	2	11	相談窓口の周知・支援体制の充実
担当課		R7年度評価	
健康対策課 福祉政策課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が目にする場所にパンフレット等の啓発物を設置し、心の健康や相談窓口について周知を図る。</li> <li>・自死やメンタルヘルスに関する相談を受けた際には、関係機関と連携して速やかに支援に向かう。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層や働き世代など広く相談窓口の情報提供を行う。</li> <li>・「ふれあいの里総合相談支援センターニュース」をはじめとする広報誌を定期的に発行することで「えしこに」での取り組みと相談窓口の周知・啓発を行う。</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【健康対策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「若者」「労働者」をターゲットにした啓発取組を、関係機関との連携のもと実施できた。</li> <li>・他機関と連携した相談窓口の周知ができ、相談が増えている。複数機関での支援が必要な相談については、他部署と連携した対応を実施した。</li> </ul> <p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期発行している「ふれあいの里総合相談支援センターニュース」を市ホームページへ掲載するとともに、公民館や図書館等への配架や、自治会長会、民生児童委員総会など地域組織の会において配布を行い、「えしこに」の取組や役割について広く周知を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発用パンフレットやポスターの掲示（イオン駅前店、図書館）</li> <li>・小学生（5、6年生）と中学生に相談窓口のチラシ配布（7,200枚）</li> <li>・二十歳を祝う会で相談窓口の情報提供</li> <li>・9月の「自殺予防週間」に合わせて、福祉保健部職員が缶バッジ着用</li> <li>・労働者への啓発として関係機関（連合鳥取、みなくる、商工会議所）と連携して啓発チラシ・カード配布（2,300枚）</li> <li>・心の相談184件（電話169件、面接10件、訪問5件）</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
51	2	11	終活支援の促進
担当課			R7年度評価
福祉政策課 長寿社会課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンディングノートの利用を通して、自身の生涯についてふりかえることで、今後の暮らしに本人の意思が尊重され、反映されるように支援を実施する。</li> <li>・エンディングノートの活用を促すため、様々な地域活動の場で取組の紹介等、啓発を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンディングノート配布数（年3,500冊）</li> <li>・ふれあい・いきいきサロンなど、さまざまな地域活動の場を捉えて、エンディングノートについての書き方講座等を行うことにより啓発を行う。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「えしこに」窓口においてエンディングノートを常時配架するとともに、総合相談支援員による相談支援の中で必要に応じた配布を行うなど、エンディングノートの普及啓発に取り組んだ。</li> </ul> <p>【長寿社会課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターが様々な機会を捉えて、エンディングノートについての書き方講座等の啓発を行った。また、R8.1に、これからの生活や健康、終活について考えるきっかけづくりとして、「シニアのための人生設計フェア」を開催した。</li> </ul> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「エンディングノートの書き方」をサロンへの講師派遣メニューに加えてもらえるよう、長寿社会課と連携した。</li> <li>・講師派遣メニューに追加することで、地区社協や全ての登録サロン（153サロン）に周知することができた。</li> <li>・サロンから各圏域の地域包括支援センターに直接依頼されるため、市全体での講座の開催数や、エンディングノートの活用者数等を把握することは困難。今後、指標の見直しが必要。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンディングノート配付数 3,500冊</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
52	2	11	身寄りがない方へのサポートの推進
担当課			R7年度評価
福祉政策課、長寿社会課 福祉課、障がい者支援課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・病院や施設に入る際の保証人や金銭・財産管理、葬祭や遺品整理など、家族や親族が担ってきた役割を果たす人がいない方の支援策について研究・検討を進める。</p>			<p>・身寄りがない方の課題として、意思決定、金銭・財産管理、葬祭関係等があげられ、それぞれ予防策を含め支援策を検討していく。併せて他市町村の状況や好事例を調査するとともに、関係機関等と問題を共有し、支援策の策定に向けて検討し可能な取組から実施する。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・「米子市身寄りのない高齢者等包括支援推進会議」に参加し、関係機関との情報共有を行った。身寄りのない方に関する相談ケースについては、成年後見制度の活用や関係課との連携の必要性を確認しながら対応した。</p> <p>・米子市身寄りのない高齢者等あんしんサポート事業に係る契約締結審査会に参加した。</p> <p><b>【長寿社会課】</b></p> <p>・R7.11より、庁内検討会に関係機関を加えた「米子市身寄りのない高齢者等包括支援推進会議」として推進体制を強化するとともに、行政と多様な主体が連携した支援体制の構築に向けた検証を行うため、R7.12より、実証事業として「米子市身寄りのない高齢者等あんしんサポート事業」を実施している。</p> <p>また、ひとり暮らしの高齢者の不安や疑問に対する支援として、「米子市高齢者のためのひとり暮らしあんしんガイド」が作成し、増刷対応するなど、高齢者及び支援者からの好評を得た。</p> <p><b>【福祉課】</b></p> <p>・庁内検討会から体制強化した「米子市身寄りのない高齢者等包括支援推進会議」に構成員として引き続き参加し、関係課及び関係機関と各種支援策の検討・実施を行った。</p>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
53	2	11	ひきこもりの状態にある方に対する社会参加支援
担当課		R7年度評価	
障がい者支援課 福祉政策課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりの状態にある方に対し、社会資源を活用しながら社会とのつながりをつくるための支援を行う。</li> <li>・各種当事者会の情報を整理し、必要な方に対して様々な機会をとらえて周知をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市のデイケア「こころの広場」実施回数（年6回）</li> <li>・重層的支援体制整備事業（参加支援事業）において社会資源の開拓及び支援メニュー開発に努めていく。</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【障がい者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの広場を6回開催し、在宅療養中の精神障がい者の社会参加の支援を行った。</li> </ul> <p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり状態にあるなど、支援が必要な方等を対象に開設する「まちの居場所田園」を拠点として、様々な社会資源と連携し、社会参加につながるメニューの提供に努めた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
54	2	11	罪を犯した人の更生支援
担当課			R7年度評価
福祉政策課 人権・男女共同参画課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・「米子市再犯防止推進計画」に基づき、総合相談支援体制により必要な福祉サービスへつなげる等、包括的な支援に取り組む。</p> <p>・罪を犯した人の更生について理解を深め、地域で社会復帰を応援できる体制を構築するために「社会を明るくする運動」を推進し、保護司会や更生保護女性会等との連携のもと、広報や啓発活動を実施する。</p>			<p>・総合相談支援体制により、必要な福祉サービスへつなげるため、相談体制の充実に努める。</p> <p>・「社会を明るくする運動」の推進のため、運動の趣旨を啓発するための広報を行う。また、強調月間である7月に、「社会を明るくする運動」開始式を実施するほか、保護司会や更生保護女性会等と連携し、啓発活動を実施する。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・地域生活定着支援センターなどの関係機関から刑余者の相談を受け、生活や住まい等の支援を行った。</p> <p><b>【人権・男女共同参画課】</b></p> <p>・社会を明るくする運動に関する啓発・広報 米子市広報・ホームページ・デジタルサイネージ・SNSへの掲載、のぼり旗の掲出等、保護司会、更生保護女性会等の更生保護活動団体と連携し、運動の趣旨の啓発・広報を行った。</p> <p>・「第75回社会を明るくする運動」開始式の実施 参加者152人</p>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
55	2	11	衛生的に暮らせる環境づくりの促進
担当課		R7年度評価	
長寿社会課、障がい者支援課 福祉政策課、クリーン推進課、市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・心身の状態によりごみ出しがしづらい方に対して、既存のサービスの活用以外に、ごみ出しをサポートする仕組みを検討する。</p>		<p>・ごみ出し支援に関する庁内検討会議を開催し、既存施策の改善や新たな支援施策について検討を進め、可能な取組から実施する。（庁内検討会議開催回数：年3回）</p> <p>・ごみ出しの他、全市的な課題について支援制度の開発に向けて検討を進め、可能な取組から実施する。（ごみ屋敷問題、多頭飼育など）</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【長寿社会課】 【障がい者支援課】 【クリーン推進課】</b></p> <p>・高齢者や障がい者のごみ出しが困難な方に対する支援については、既存福祉制度を活用する時間制約のないごみステーションの設置、福祉事業所敷地内へのごみステーションの設置、高齢者等のごみ出しが困難な世帯に対して自治会が行うごみ出し支援への補助を行った。</p> <p>また、介護保険事業において、NPO法人やボランティアなどの多様な主体が行う、ごみ出しなどの生活支援サービス「訪問型サービスB」を創設し、実施団体に対して補助を行うことができたこととした。なお、上記施策検討・実施状況共有のため、庁内検討会議を3回開催した。</p> <p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・福祉課題の解決に向けて関係各課と情報共有を行った。</p> <p><b>【市社協】</b></p> <p>・総合事業訪問型サービスB（ごみ出しを含む簡易な生活支援）について、地区社協会長連絡会や在宅福祉員代表者連絡会、地区自治会長会等、紹介する機会を作った。</p>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
56	2	11	住民活動による見守り支援等の充実
担当課		R7年度評価	
市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問活動や居場所づくり等、住民活動として行っている孤立防止の取組について、各団体の活動を支援するとともに、課題を抱えた方がいれば相談機関へつないでもらうよう働きかける。</li> <li>・在宅福祉員による地域の高齢者世帯の見守り援助活動を推進し、高齢者世帯の抱える困りごとの早期発見を図る。</li> <li>・民生委員・児童委員と在宅福祉員が連携して活動することで、課題を抱える世帯の情報が支援機関に届けられる仕組みを構築する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅福祉員に対する各種研修会の実施（全体：年1回、地区別：年15回）</li> <li>・民生委員・児童委員と在宅福祉員による研修会や連絡会の実施を支援する（年29地区）</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅福祉員の地区別研修会では、在宅福祉員活動が必要な背景や役割について説明を行い、高齢者世帯の困りごとに気づいたら民生児童委員や地域包括支援センターにつなぐようお願いしている。市全体の研修会では意見交換を通じて、各地区での今後の活動のヒントを得る機会となった。</li> <li>・民生児童委員と在宅福祉員の研修会や連絡会の開催を促し、講師や内容についての相談に対応した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅福祉員に対する各種研修会の実施：全体年1回、地区別年10回</li> <li>・民生委員・児童委員と在宅福祉員による研修会や連絡会の実施：27地区</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
57	2	11	見守り活動を実施する事業者への呼びかけ
担当課		R7年度評価	
長寿社会課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・住民の日常生活の異常等を早期発見し通報ができる、市内の住宅を訪問する事業者と協力を呼びかけ、連携事業者を増やす。</p>		<p>・「鳥取県中山間集落見守り活動支援事業」により、鳥取県と共同で連携協定を締結している事業者による見守りを推進するとともに、当該事業の周知広報を行い連携事業者を増やしていく。</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【長寿社会課】</b></p> <p>・R7年度において新たに3事業所と協定を締結しており、事業者による見守り活動を推進することができた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・本市との連携協定締結事業者数：34事業者（R7年度末時点）</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
58	2	11	介護や見守りが必要な人及びその家族の支援
担当課			R7年度評価
長寿社会課 障がい者支援課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・地域活動支援センター等の活動を通じて、本人やその家族の孤立を防ぎ、適切な情報提供や助言、必要なサービスへのつなぎを行うことにより、家族の心理的不安の軽減や生活の安定を図る。</p>			<p>・認知症サポーター養成講座 累計受講者数（R11年度末時点：28,500人/年：1,000人増）</p> <p>・認知症サポーターステップアップ講座 累計受講者数（R11年度末時点：340人/年：60人増）</p> <p>・地域活動支援センターでの活動を通して、本人や家族の生活の安定を図る。</p> <p>・地域活動支援センターの活動について広く周知を図る。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【長寿社会課】</b></p> <p>・認知症サポーター養成講座については、地域や小学校での開催に加え、市主催での講座開催や市職員、民間企業を対象とした講座を実施した。</p> <p><b>【障がい者支援課】</b></p> <p>・地域活動支援センターの実施事業所が、交流会を通じて活動の周知を行い、本人や家族の居場所づくりを実施できた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・認知症サポーター養成講座累計受講者数：25,769人</p> <p>・認知症サポーターステップアップ講座累計受講者数：59人</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
59	2	12	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
担当課			R7年度評価
交通政策課 営繕課、建築相談課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・「バリアフリー法」及び「米子市バリアフリー基本構想」に基づき、高齢者や障がい者等に配慮した駅やバス停留所、歩道等の整備やノンステップバスの導入を推進するなど、誰もが安全・快適に公共交通を利用できる環境の整備に努める。</p> <p>・「バリアフリー法」及び「鳥取県福祉のまちづくり条例」に基づき、公共建物は新築、増築、改修工事を機に、ユニバーサルデザインを取り入れた公共施設のバリアフリー整備に取り組む。</p> <p>・既存の民間特定建築物（学校、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、ホテル、事務所、共同住宅その他多数の人が利用する建築物）のバリアフリー化を支援するため、整備を行う建築主に対し、整備費用の補助を行う。</p>			<p>・現在の方法を継続し、事業の進捗を図っていく。</p> <p>・公共建築物の新築・改修等を行う際は、整備内容について各関係部署とも協議を行いバリアフリー化を進める。</p> <p>・既存建築物のバリアフリー化に伴う整備費用の補助を行い、高齢者、障がい者等の移動及び施設利用の利便性、安全性を向上する。【R7年度目標】R11年度末までに補助整備数：31施設</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【交通政策課】</b></p> <p>・米子市バリアフリー推進協議会を開催し、「米子市交通バリアフリー基本構想」に設定した国・県・市・事業者等の目標を踏まえ、各機関での取組状況及び来年度の予定を共有した。</p> <p>・米子市バリアフリー推進協議会委員を含む障がい者団体関係者とよねぎーバス本格運行に向けて試走を行い、車両確認及びバス停点検を行った。</p> <p>・米子市バリアフリー推進協議会委員及び道路整備課と歩道及び点字ブロックの現地点検を行った。</p> <p><b>【営繕課】</b></p> <p>・公衆トイレ3棟新築 全てバリアフリースイートイレ設置。</p> <p>・小中学校トイレ改修 4校中3校バリアフリースイートイレ 設置（1校は既に設置済み）</p> <p>・公民館トイレ改修 3館全てバリアフリースイートイレ設置</p> <p><b>【建築相談課】</b></p> <p>・R7年度に既存建築物のバリアフリー化に伴う整備費用の補助を2件行い、R7年度末時点の補助整備件数が28件となった。現状の補助件数を維持した場合、指標を達成する見込みである。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・補助整備数：28件（R7年度末時点）</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
60	2	12	合理的配慮の普及促進
担当課			R7年度評価
障がい者支援課 市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」に基づき、障がい者に対する差別的扱いの禁止と、合理的な配慮の提供に率先して取り組むとともに、社会全体での取組につながるよう、市民や企業に広く啓発を行う。</li> <li>合理的配慮の提供は、障がい者のみならず、高齢者や妊婦等、配慮が必要と思われるあらゆる人を対象として取り組む。</li> <li>令和6年4月1日より義務化されたことにより、民間事業者での普及のための研修会を実施する。また、あいさぽーター研修を積極的に開催し、障がいに対する理解を深める。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさぽーター研修実施（実施回数：年5回、受講者数：年100人）</li> <li>あいさぽーター研修の講師となる職員を増やし、研修体制の強化を図る。（R7年度 3名）</li> <li>「あいさぽーター研修」受講済の市社協職員数（R11年度末：20名）</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【障がい者支援課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさぽーター研修は、昨年度に比較して実施回数が少なかった。</li> </ul> <p>また、あいさぽーター研修講師（あいサポートメッセンジャー）の増員に関しては1名増員とし、合計3名体制とした。</p> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R8年度は4名が研修を受講予定としており、期間内に指標を達成する見込み。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさぽーター研修実施回数：1回、受講者数：6名</li> <li>あいサポートメッセンジャー：3名</li> <li>「あいさぽーター研修」受講済の市社協職員数：8名</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
61	2	12	芸術・スポーツの場面での活躍の場の提供
担当課			R7年度評価
障がい者支援課 スポーツ振興課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・公民館祭、芸術祭、スポーツ祭、余芸大会など、様々な場面で、その人の特性に合わせた活躍の場を提供する。</p>			<p>・障がいのある人の創作活動の発表の場である「共に生きるアート展」の参加事業所及び観覧者の増を図るため、周知広報に取り組む。</p> <p>・年齢や障がいの有無に関わらず皆が一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツについて、大会や教室の開催を通じて普及を図る。（市が主催するユニバーサルスポーツの大会に毎年120人以上が参加）</p> <p>・米子市余芸大会において、毎年障がい者の団体が1団体以上参加</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【障がい者支援課】</b></p> <p>・今年度の「共に生きるアート展」は参加団体が19団体、観覧者数が853人であった。参加団体数は昨年度と同数ではあるが、初の試みとして市内の特別支援学校に出展を依頼した結果、県立米子養護学校の出展が叶い、多様な作品の出展につながった。また、観覧者数は目標値には届かなかったものの、各種メディア等による周知を徹底した結果、昨年度を上回る観覧者数となった。今後は更なる観覧者数の増加を目指して各種広報等に取り組んでいきたい。</p> <p><b>【スポーツ振興課】</b></p> <p>・11月24日に米子市ボッチャ交流大会を主催し、169人の参加があった。また、公民館におけるユニバーサルスポーツ教室の開催を支援し普及を図った。</p> <p><b>【市社協】</b></p> <p>・次年度以降も余芸大会の団体参加を募集し、障がい者団体の発表の場を提供する。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・共に生きるアート展：参加団体19団体、観覧者数853人</p> <p>・米子市ボッチャ交流大会参加者：169人</p> <p>・余芸大会における障がい者団体参加数：1</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
62	2	12	優先調達の推進
担当課		R7年度評価	
障がい者支援課		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・障がい者就労施設等からの物品や役務の調達を優先的に行うことで、事業所の受注機会の拡大を図り、工賃等の向上による障がい者の経済的自立につながる取組を推進する。</p>		<p>・「米子市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針」を定め、障害者就労施設等の受注機会の拡大を図り、利用者の工賃等の向上に寄与するよう取り組む。 (年度ごとに目標額を設定) R7年度目標値 42,500,000円</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【障がい者支援課】</p> <p>・順調に障がい者就労施設等からの調達に取り組んでいる。</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <p>・優先調達の実績額：44,614,152円</p>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
63	2	12	手話言語の普及推進
担当課			R7年度評価
障がい者支援課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・「米子市手話言語条例」に基づき、手話言語の普及に資する取組や環境整備を行う。</p>			<p>・あいサポーター研修等での周知活動を実施する。</p> <p>・手話言語普及に係る周知啓発について、あらゆる機会をとらえ広く関係機関へ働きかけを行う。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【障がい者支援課】</b></p> <p>・手話言語の利用に向けた環境整備など、聴覚障がい者の情報保障の取組を実施するとともに、手話言語国際デーのライトアップイベントなど関係団体と連携した普及啓発に取り組んだ。</p> <p>※参考※</p> <p>米子市議会において、R8年3月定例会から、テレビ放送に手話の映像を、インターネット配信には手話の映像及び字幕の表示を開始した。</p> <p>また、傍聴者も映像を閲覧できるよう議場の傍聴席にモニターを設置した。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b> R7年度評価の理由等に記載のとおり</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
64	2	12	誰でも役割が持てる活動の場づくり
担当課		R7年度評価	
福祉政策課 市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・就労に向けて準備される方の職場体験の受け入れや、ちょこっとボランティアなど、就労や社会参加に向けたきっかけになるような活動の機会・場を増やしていく。</p>		<p>・ちょこっとボランティア参加者数（年延べ40名） ・職場体験の受け入れ等、要望に応じて随時対応する。</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談ケースの中で、適宜ちょこっとボランティアの情報提供を行い、年3事例繋がった。</li> <li>・職場体験の受け入れ体制は整っているが、希望者はいなかった。</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関から居場所について相談を受けた際、受け入れ先としてちょこっとボランティアの紹介をする等随時対応し、延べ参加者数が増えたため。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょこっとボランティア参加者数 延べ54名</li> <li>・職場体験の依頼：無し</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
65	2	12	高齢者の活躍の場の提供
担当課			R7年度評価
長寿社会課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・高齢者が地域社会において、健康で活躍し続けることができる生涯現役社会の実現を目的に、就労・ボランティア・地域活動などの機会の提供を進める。</p>			<p>・「米子広域シルバー人材センター」の事業として行う受託事業やシルバー派遣事業等により高齢者の雇用・就業機会の提供を支援する。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【長寿社会課】</b></p> <p>・軽度生活援助事業の広報やシルバー人材センターの運営費の補助を行うことで、高齢者の雇用の拡大や生きがい増進を図った。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・会員登録者数：519名</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
66	3	13	福祉や人権に関する研修会の実施
担当課			R7年度評価
福祉政策課 人権・男女共同参画課、市社協			A
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・公民館、隣保館、学校、企業等で実施する講座や研修において、高齢者、障がい者、外国人、LGBTQ等、様々な人権についての研修や講演会を実施し、人権や福祉に関する理解を深める。</p> <p>・住民を対象に、地域への愛着を育み、地域福祉活動への関心や意欲を高めるような研修を実施することで、住民の地域福祉意識の啓発を推進する。</p>			<p>・「えしこに」の活動をはじめ、地域福祉に関する説明（ふれあい説明会など）や「人と地域とつながる研修」といった、各種研修会を実施、又は参画する。</p> <p>・人権や福祉に関して自分事として捉えられるような意識を深めるため、様々な人権課題についての研修、講演会を実施する。（小地域懇談会、隣保館講座、米子市人権・同和教育研究集会、よなごの人権フォーラム等）</p> <p>・住民を対象にした地域福祉活動に関する研修会の実施（年40回）</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・県が主催「とっとり孤独・孤立サポーター研修（旧称：人と地域とつながる研修）」について、市（えしこにの総合相談支援員）も講師として参画し実施した。</p> <p><b>【人権・男女共同参画課】</b></p> <p>人権や福祉に関する理解を深めるため、様々な人権に関する研修会、講演会を実施した。 （テーマ：こども、高齢者、障がいのある人、外国人、多様な性のあり方、同和教育、更生保護ほか）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域懇談会 48回 913人</li> <li>・隣保館講座（公民館合同講座含む）14回 437人</li> <li>・米子市人権・同和教育研究集会 447人</li> <li>・よなごの人権フォーラム 53人</li> <li>・誰でも人権アカデミー（全5回） 延331人</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <p>・市全体、地区、自治会単位など機会や要望に応じて研修会を実施し、地域福祉意識の啓発を進めた。本計画の内容についての研修会も行い、地域のみなさんとともに、どのような活動をしていきたいか分かりやすく示した。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・住民を対象にした地域福祉活動に関する研修会の実施：46回</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
67	3	13	地域福祉活動の普及啓発
担当課		R7年度評価	
福祉政策課 市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「よなご社協だより」の発行、ホームページ等を活用し、各地区の地域福祉活動や市社協の活動を周知することで住民の福祉への理解や関心を深めていく。</li> <li>・「米子市社会福祉大会」を開催し、功労者への表彰や研修等を通じて活動への意欲を高めるとともに、住民の福祉意識の啓発に繋げる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉への関心が深まるよう、地域“つながる”福祉プランの内容について、様々な機会を通じて周知する。 (第2期地域“つながる”福祉プラン【概要版】の配布1000部)</li> <li>・市社協SNSへの投稿(年80回)</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員協議会総会や学校の福祉教育への協力時に第2期米子市地域“つながる”福祉プラン(概要版)の配布を行った。</li> <li>・公民館で「第2期米子市地域“つながる”福祉プラン」の説明及び第2期米子市地域“つながる”福祉プラン(概要版)の配布を行い、計画の周知を図った。</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムのフォロワー数が増え、SNSによる社協の活動やイベント周知の効果が出てきている。</li> <li>・社会福祉大会は200名を超える参加者があり、功労者表彰及び県日赤職員講師による災害時の取り組みについての講演会を行い、福祉意識の啓発等につながる開催となった。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期地域“つながる”福祉プラン(概要版)の配布：約1,500部配布</li> <li>・「第2期地域“つながる”福祉プラン」：9回(社会福祉大会、民生児童委員協議会総会、地区社協総会等)</li> <li>・よなご社協だより発行による情報発信 年4回</li> <li>・市社協SNS投稿による情報発信 98回</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内(R11年度まで)に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
68	3	13	各種学校と連携した福祉教育
担当課			R7年度評価
学校教育課、生涯学習課 福祉政策課、市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育プログラムや、コミュニティ・スクールを活用するなど、住民や当事者との交流を進め、地域福祉の理解を深められるよう働きかける。</li> <li>・福祉教育の推進に資するため、「米子市小・中・特別支援学校福祉教育研究協議会」と連携し、福祉教育実践記録集を作成する。市社協ホームページに掲載することで、多くの方が閲覧できるようにする。</li> <li>・高校、大学、専門学校においては、ボランティアについての情報提供や参加の呼びかけを行い、若い頃からボランティア活動に興味を持ち、参加する体制づくりを行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校と市社協等関係機関が連携を図り、各学校における福祉教育をより一層推進する。</li> <li>・市社協が担当する福祉教育プログラムの実施数（年10回）</li> <li>・福祉教育実践記録集の市社協ホームページ掲載（年1回）</li> <li>・高校、大学、専門学生がボランティア活動に参加できるよう、積極的に働きかける。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓成小学校のまち探検や、各学校、te to te～つなぐん家～にて社会福祉問題について考える機会を設け、福祉教育の推進を図った。</li> </ul> <p><b>【市社協】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校に配布している福祉教育プログラムは、主に小学校から依頼があり、学校の希望に沿う形で実施した。</li> <li>・大学、高校、専門学校に対しては、ボランティア情報誌の送付や訪問等を行った。個人でボランティア登録やLINE登録している方については、都度情報提供し、参加を働きかけた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育の推進：啓成小学校1回、米子南高校3回、米子養護学校3回、皆生養護学校2回、te to te～つなぐん家～3回</li> <li>・福祉教育プログラム集の更新および全小中学校への配布：1回</li> <li>・市社協が担当する福祉教育プログラムの実施：9回</li> <li>・福祉教育実践記録集の市社協ホームページ掲載：1回</li> <li>・高校生のボランティア体験事業への協力：85名</li> </ul>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
69	3	14	ファミリー・サポート・センター事業の推進
担当課			R7年度評価
市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・ファミリー・サポート・センター事業を推進し、住民の様々なニーズに対応できるよう、会員増加への取組を図る。特に、子育て中の方でも活躍できるよう、両方会員としての登録を働きかける。</p>			<p>・新規会員数の増加 援助会員：年10名、依頼会員：年120名、両方会員：年5名</p> <p>・活動回数（年3,700回）</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【市社協】</b></p> <p>・センターの働きかけにより、長年の課題であった援助会員不足が解消傾向にあり、多様化する利用ニーズに対し、迅速かつ柔軟な対応ができています。</p> <p>・毎日利用していた会員の退会により活動回数は指標に達しなかったが、直前の利用希望や医療的な処置が必要な場合を除き、全ての依頼に対応した。</p> <p>・センターと会員の連絡手段としてメールや公式LINEを導入し、若い世代の認知度向上と利便性の確保に努めた。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・新規会員数：援助会員16名、依頼会員118名、両方会員2名</p> <p>・活動回数：3,401回</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
70	3	14	人材発掘・地域福祉活動への参加促進
担当課		R7年度評価	
福祉政策課 市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<p>・地域福祉活動の実践に関する研修等の啓発活動を通じて、地域福祉活動の新たな担い手やリーダーとして活躍が期待できる人材育成を支援する。</p> <p>・若い世代に向けて地域福祉活動についての情報を発信し、活動への興味が湧くよう働きかける。</p> <p>・福祉教育を通じて子どもたちが地域活動に関心を持てるよう働きかけ、幼少期から活動へ参加協力することで、今後活躍が期待できる人材の育成を支援する。</p>		<p>・「人と地域とつながる研修」受講者へのフォローアップ企画の実施（年3回）</p> <p>・地域福祉活動の新たな担い手を対象とした研修やワークショップ等の啓発活動の実施（年10回）</p> <p>・児童生徒を対象にした福祉教育授業の実施（年40回）</p> <p>・若い世代に向けた情報発信のためのSNSの活用推進（市社協SNS投稿 年80回、市社協Instagramフォロワー数 R11年度末時点：2,000名）</p>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・「人と地域とつながる研修」受講者へのフォローアップについては、県主催「孤独・孤立サポーター研修」のサポーター交流会の実施により、その役割を引き継ぎ、本市は研修の周知に協力した。</p> <p>・「人と地域とつながる研修」の受講修了者に対し、横のつながりの形成を目的に「クリーンさんぽ」を実施した。</p> <p><b>【市社協】</b></p> <p>・従来のボランティア入門講座・レク講座に加え、地域活動のリーダーを対象とした意見交換会を開催した。地区や活動領域を超えて、リーダーとして感じる課題等について意見交換を行い、気づきをえた参加者が多かった。</p> <p>・福祉教育授業を通じ、地域に目を向け、地域のために何ができるのか子ども達に考えてもらった。日々のあいさつや行事への参加を通じて地域の人とつながっていく意識を持つ子どもが多かった。</p> <p>・SNS投稿を積極的に行い、他の事業者等ともつながることで、フォロワー数も増えた。おさがり会等はSNSを通じて参加される方が多く、若い世代への情報発信の方法としてさらに活用していく。</p>			
<b>実績</b>			
<p><b>【R7年度実績】</b></p> <p>・地域福祉活動の新たな担い手を対象とした研修やワークショップ等の啓発活動の実施：10回</p> <p>・児童生徒を対象にした福祉教育授業の実施：35回、包括による福祉教育支援：6回</p> <p>・市社協SNS：投稿98回、Instagramフォロワー数1,670人</p>			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
71	3	14	市職員・市社協職員の地域福祉活動の推奨
担当課			R7年度評価
福祉政策課 地域振興課、市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通じて、職員に対して地域貢献の意義や必要性を伝え、職員の「地域デビュー」を働きかける。</li> <li>・職員が地域福祉活動に取り組みやすい職場環境の整備を図る。</li> <li>・地域活動サポーター制度「地域かかわり隊」を活用し、職員が積極的に地域福祉活動に参加するよう促す。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と地域とつながる研修への市職員の参加を促進する。</li> <li>・地域活動参加に向けた市職員研修の実施（年5回）</li> <li>・市社協ボランティア休暇取得者数（R11年度末時点：延べ25人）</li> <li>・地域かかわり隊派遣回数（年10回）</li> </ul>
R7年度評価の理由等			
<p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とっとり孤独・孤立サポーター研修（旧称：人と地域とつながる研修）について、市職員へ参加を呼びかけた。</li> </ul> <p>【地域振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員の積極的な地域活動参加に向けて地域かかわり隊の周知や研修を実施した。</li> <li>・地域からの地域かかわり隊派遣依頼に応じ、各種イベント等に職員を派遣した。</li> </ul> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所内研修を通じて各課の担当業務に対する理解を深めるとともに、地域活動の必要性や意義について共有した。</li> <li>・休暇の活用で地域福祉活動への参加の契機となることができている。引き続き、制度の活用を図る。</li> </ul>			
実績			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員の積極的な地域活動参加に向けて地域かかわり隊の周知や研修：年2回</li> <li>・地域からの地域かかわり隊派遣依頼に応じ、各種イベント等への職員を派遣：6回</li> <li>・市社協ボランティア休暇取得者：5名、延べ30回</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
72	3	15	ボランティア活動の促進
担当課			R7年度評価
市社協			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米子市ボランティアセンターを運営し、市民のボランティアに対する理解と関心を深める活動を行うとともに、ボランティア活動者への様々な支援を行うことで、ボランティア活動の活性化を図る。</li> <li>・ボランティアコーディネート機能を充実させ、ボランティア団体・個人が、必要な時に協働できる関係づくりを行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ボランティア登録者、登録団体数の増加に向けて取り組む。</li> <li>・個人ボランティア新規登録者数（R7年度～R11年度累計：100名増）</li> <li>・ボランティア団体の活動が継続するよう支援する。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体の活動継続支援となるよう、団体交流会を開催した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ボランティア新規登録数：45名</li> <li>・団体ボランティア新規登録数：13団体</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
73	3	15	元気ささえあいボランティアの促進
担当課		R7年度評価	
フレイル対策推進課 市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら、介護施設の補助者やフレイル予防などのボランティア活動を行う「元気ささえあいボランティア制度」への参加を促進し、社会参加、生きがいづくりにつなげる。</li> <li>・若年層も含め、より多くの方に登録していただけるよう、啓発活動や興味を持った方が登録しやすい体制づくりを行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気ささえあいボランティア登録者数（R11年度末時点：200名）</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【フレイル対策推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの人数は年々増加している。</li> <li>・フレイル予防に係るボランティアが多いが、介護施設でのボランティアも徐々に増加している。</li> <li>・R7年度から、若年層の登録を促進するため「とっとり電子申請システム」による申請を導入した。</li> </ul> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等の身近な場所で、27回出張登録会を行い、元気ささえあいボランティアの啓発および登録の呼びかけを行ったことで、登録数が増加した。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気ささえあいボランティア登録者数：156名</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
74	3	15	ボランティア活動に関する講座や研修の実施
担当課		R7年度評価	
市社協		B	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動を始めるきっかけとなり、活動者が増加するよう、ボランティア入門講座やレクリエーション講座の充実を図る。</li> <li>・各種研修の受講者など、ボランティア活動に興味を持った方を実際の活動につなげる仕組みをつくる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動者のための講座の実施（講座実施：年9回、講座参加者数：年110名）</li> <li>・SNSの積極的な活用、講習会案内先の拡大など、広報活動を充実させる。（ボランティアセンター公式LINE登録アカウント数：R11年度末時点：300件）</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア入門講座の中で、終了後に活動につながるよう活動先の紹介をしている。</li> <li>・SNSを活用し、講習会の案内や活動報告を行うことで、ボランティアに興味を持たれた方が活動に結びつくよう努めた。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動者のための講座：回数9回、参加者数143名</li> <li>・ボランティアセンター公式LINE登録アカウント数：200件</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
75	3	15	ボランティアセンターの体制強化
担当課			R7年度評価
福祉政策課 市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターに専門性の高い職員を配置してボランティアコーディネート機能を高め、さまざまなニーズを持った方の相談に対応できるようにする。</li> <li>・ボランティアセンターが中心となり、福祉教育プログラムの充実や幼少期からボランティアの心を育む活動を推進する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規個人登録者の初回活動へのマッチング率（年75%以上）</li> <li>・新規ボランティア活動先の開拓（R7年度～R11年度累計：10件）</li> <li>・福祉教育を推進するための協議の場として「福祉教育推進プラットフォーム」の設置について検討する。</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育推進プラットフォームの設置検討のため関係機関に聴取りを行い、情報収集を行った。</li> </ul> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ニーズのある方など、様々な理由から紹介や伴走支援をしてもマッチングにつながらないケースがあり、初回活動へのマッチング率は指標を下回った。</li> <li>・SNS等の啓発活動や地域福祉活動支援員（CW）からの情報提供により、新規依頼先が増加した。</li> <li>・市社協による福祉教育の実施校を増やしている段階であり、今後プラットフォームの設置について検討していく。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規個人登録者の初回活動へのマッチング率：71%</li> <li>・新規ボランティア活動先の開拓：20件</li> <li>・福祉教育プラットフォームの設置の検討：なし</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
76	3	16	実習生等の受け入れによる人材育成の促進
担当課		R7年度評価	
福祉政策課 市社協		A	
取組内容		取組に係る方法・指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や専門学校の学生等、福祉・医療の専門資格取得を目指す実習生を積極的に受け入れ、将来の福祉人材の養成に寄与するとともに、福祉職のやりがいや地元で働く魅力を伝える。</li> <li>・地域の福祉課題に目を向け、福祉職に興味を持つきっかけとなるよう、ワークショップなど学生と協働した取組を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師、保健師及び社会福祉士の実習受け入れを実施する</li> <li>・小中高生、大学生、専門学生など対象に、地域課題の把握・共有目的でワークショップを実施する（年2回）</li> </ul>	
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米子養護学校、皆生養護学校、米子南高校、te to te〜つなぐん家〜の福祉教育への協力を行った。</li> </ul> <p>社会福祉士の実習の受け入れ体制は整っているが、希望者はいなかった。</p> <p>【市社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての実習依頼を受け入れたほか、社会福祉士を目指す大学生から個別に職場見学の依頼があったため対応した。</li> <li>・学生だけでなく現役医療専門職の受け入れも行うことで、より実践的かつ相互理解を深める機会となった。</li> <li>・実習を通じて構築された関係性が、実際の相談支援やケース対応における医療機関との連携強化につながっており、人材育成にとどまらず地域の支援体制の質の向上にも寄与している。</li> <li>・YMCA米子医療福祉専門学校の授業の一環として、学生を受け入れるサロンの調整を行った。</li> </ul> <p>※参考※ フレイル対策推進課：作業療法士1名、健康対策課：看護師及び保健師36名の受け入れ実績</p>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師および保健師の実習生：17名</li> <li>・社会福祉士：3名</li> <li>・ワークショップの開催回数：6回</li> <li>・学生の職場体験：1件</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
77	3	16	地元就職の強化
担当課			R7年度評価
商工課 福祉政策課			B
取組内容			取組に係る方法・指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元就職促進のために、SNS等を活用して市内の就職関連情報の発信を行う。</li> <li>・鳥取県、近隣他市や地元企業など関係機関等と連携して、学生や若者向けの就職イベントを実施し、より多くの就職先の選択肢を増やす。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職関連情報の配信をしている経済戦略課LINEアカウント（R11年度末までに登録者数1,000人）</li> <li>・学生や若者向けの就職イベントの開催・参加（年1回以上開催）</li> <li>・福祉系の就職イベントに参加を検討する</li> </ul>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p>【商工課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEを活用して就職関連情報を毎月3回程度、定期的に配信した。登録者数も順調に増えており、指標を達成見込みである。</li> <li>・中学生を対象とした企業見学バスツアーを実施したり、米子高専生のための進路研究セミナーへ職員課と合同で出展し、米子で働くことの魅力などをPRした。</li> </ul> <p>【福祉政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職イベントへの参加を検討する上で、学生のニーズを把握するために、学生に向けたアンケート実施について検討を行った。</li> </ul>			
<b>実績</b>			
<p>【R7年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職関連情報の配信をしている課LINEアカウント登録者数：765人</li> </ul>			

## 【自己評価の基準】

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手

連番	基本目標	基本計画	取組名
78	3	16	福祉専門職の充実
担当課			R7年度評価
福祉政策課 職員課、市社協			C
取組内容			取組に係る方法・指標
<p>・市職員の福祉専門職のあり方について検討する。また、市内の福祉事業者と協力し、福祉専門職員の人材育成を実施する。</p>			<p>・市職員と市内福祉事業所との合同研修会を実施を検討する。</p> <p>・福祉保健部各所属を中心に意見を聞き取り、市に必要な福祉専門職の配置を検討する。（年1回）</p> <p>・市職員に必要とされる福祉部門の専門的知識の習得及び実務遂行能力の向上のため、市町村アカデミー等が開催する専門的な研修を受講できる体制を整える。</p>
<b>R7年度評価の理由等</b>			
<p><b>【福祉政策課】</b></p> <p>・市職員と市内福祉事業所との合同研修会の実施については、庁内での検討に留まった。今後は、市内福祉事業者への聴取りも行いながら、実施に向け検討を進めていく。</p> <p><b>【職員課】</b></p> <p>・毎年度、夏に実施する人員体制・組織機構等の聴取りの中で、専門職の配置については、意見聴取している。</p> <p>・市町村アカデミー等研修については従来どおりの方法で実施。</p> <p><b>【市社協】</b></p> <p>・県社協主催の人材育成研修等を活用するとともに、参加のしやすさも含め研修の機会を増やす取組を検討する。</p>			
<b>実績</b>			
【R7年度実績】 R7年度評価の理由等に記載のとおり			

**【自己評価の基準】**

A・・・取組の指標を達成した、顕著な取組がある B・・・計画期間内（R11年度まで）に指標を達成見込みである、概ね順調に取り組んでいる C・・・指標を一部達成している、取組は行っているが不十分である D・・・未着手